

年報

—平成 24 年度—

2013

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

平成 24 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

平成 24 年度は積極的に学級・講座を実施した 1 年でした。1 年間に実施した回数はこれまでで最も多い 62 回にのぼります。「大磯自然観察会（平成 11 年度開始）」、「海の教室（平成 12 年度開始）」、「古文書裏打ちクラブ（平成 16 年度開始）」、「海の森クラブ（平成 22 年度開始）」、「石仏クラブ（平成 23 年度開始）」を継続して実施するとともに新たに「古文書解説クラブ」を開始しました。また、単年度の企画である「みんなで町の自然を調べよう」を 2 種類実施し、こうしたことが実施回数の増加につながりました。いずれの学級、講座も地域の方々の協力のもと、館所蔵資料の整理や資料、データの収集を行なうことを目的としており、地域に根ざした博物館として有意義な活動を展開することができました。

企画展は例年並みの 5 本を開催しました。4 月から 6 月にかけて、クイズ形式の展示であるミニ展示『なあとこれ？ 珍資料傑作選』を、7 月から 9 月にかけては、小島本陣の資料を中心に江戸時代の大磯宿の様相を紹介する『東海道大磯宿』を開催しました。また、10 月から 12 月にかけて、12 月から 1 月にかけては、昨年度、一昨年度に引き続き、季節の植物をテーマにした学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋』、『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬』を開催し、大磯町の植物の分布状況を紹介しました。3 月から 5 月にかけては、東日本大震災から 2 年、関東大震災から 90 年という節目を契機として企画展『大磯の災害』を開催するとともに会期中、関連行事として講演会、パネル展示、展示解説を実施し、いずれも好評を博しました。

今後も「湘南の丘陵と海」のテーマのもと、多くの方々が興味を持ち、参加していただける活動を進めていきたいと考えています。資料館活動につきまして、ご理解・ご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目 次

[事業報告]

庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	3
・維持管理	3
・入館者	3
学芸	4
・企画展	4
・学級・講座	8
・ホームページを活用した情報発信	12
・学校教育との連携	12
・他の博物館・生涯学習施設との連携	13
・刊行物	13
・調査・研究・普及	14
・博物館実習	16
・博物館資料の収集・整備・利用	17

[研究報告]

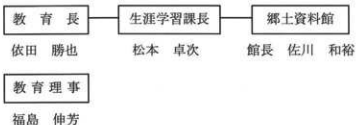
講座『みんなで町の自然を調べよう～秋の七草の分布しらべ～』及び 学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実2012・秋』の実施報告 北水 慶一	30
大磯町国府本郷地区山口家の御札資料からみる信仰範囲 保坂 匠	39

事業報告

庶務

■ 組織および職員

<平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日>



副主幹/学芸員 北水 慶一
 主事/学芸員 大石三紗子
 主事補 曾根田貴子
 臨時職員/司書 諏訪部房代
 臨時職員/自然観察指導員 高山 優美

<平成 24 年 5 月 1 日～>

※ 平成 24 年 5 月 1 日に機構改革を実施



副主幹/学芸員 北水 慶一
 主事/学芸員 大石三紗子
 主事補 曾根田貴子
 臨時職員/司書 諏訪部房代
 臨時職員/自然観察指導員 高山 優美
 臨時職員/学芸員 保坂 匠

■ 運営委員会

<委員の構成（～平成 25 年 1 月 7 日）>

- ・委員長/廣瀬 利郎（社会教育関係者）
- ・副委員長/近藤 英夫（学識経験者）
- ・委員/稲葉 和也（家庭教育の向上に資する活動を行なう者）
 広谷 浩子（学識経験者）
 川越 初榮（学校教育関係者）

<委員の構成（平成 25 年 1 月 8 日～）>

- ・委員長/近藤 英夫（学識経験者）
- ・副委員長/稲葉 和也（家庭教育の向上に資する活動を行なう者）
- ・委員/広谷 浩子（学識経験者）
 川越 初榮（学校教育関係者）
 新見由美子（社会教育関係者）

<委員会の開催>

- ・第 1 回/平成 24 年 7 月 24 日

議題 1	平成 23 年度事業報告について
議題 2	平成 24 年度事業計画及び予算について
議題 3	展示リニューアル等について
議題 4	夏季企画展「東海道大磯宿－小島本陣資料を読み解く－」について
- ・第 2 回/平成 24 年 11 月 7 日

議題 1	平成 24 年度事業の進捗状況について
議題 2	展示リニューアル等について
議題 3	学習参考資料展「みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋」について
- ・第 3 回/平成 25 年 3 月 19 日

議題 1	平成 24 年度事業の進捗状況について
議題 2	平成 25 年度事業計画及び予算について
議題 3	資料整理状況等について
議題 4	春季企画展「大磯の災害－かつてこの地で起きたこと－」について

■ 予算

<当初予算の推移>

事業	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
金額	51,922,000	54,050,000	44,911,000	46,633,000	40,956,000	43,650,000

<平成24年度決算>

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	計
金額	58,500	3,563,933	10,606,291	2,751,154	1,095,067	18,074,945

□職員給与(4人分) 26,134,532円 ■歳出合計 44,209,477円

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託/(株)郵生
- ・警備委託/(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託/ダイコー(株) 横浜営業所
- ・敷地管理委託/(財)神奈川県公園協会
- ・空調機器給水設備保守委託/(株)根布工業
- ・浄化槽維持管理委託/湘南興業(有)
- ・自家用電気工作物保守委託/浅葉電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託/(有)湘南消防器具商会
- ・自動ドア保守委託/(株)神奈川ナブコ 厚木支店

<修繕>

- ・電話機増設工事/東陽工業(株)
- ・研修室窓枠部品交換修繕/湘南サッシ(株)
- ・排水溝修繕工事/(有)中越工務店
- ・電気温水器交換修繕/(株)根布工業
- ・補修工作室ドアヒンジ修繕/(株)ベック

■ 入館者

<入館者数の推移>

単位：人、日

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	累計(昭和63年～)
入館者数	28,576	34,927	29,782	27,049	25,349	791,985
1日平均/開館日数	98/292	119/294	102/291	93/291	86/295	113/7,021

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	1,943	2,286	1,566	1,653	1,895	1,310	3,078	2,610	1,797	1,857	1,956	3,398	25,349
1日平均	78	91	65	66	73	52	123	104	78	81	85	131	93

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	2	1	2	1	1	7	4	2	2	0	3	25

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	11	10	11	12	5	11	10	12	8	9	11	120

■ 企画展

ミニ企画展『なあとこれ? ③資料傑作選』

期 間／平成24年4月28日(土)～6月17日(日)

開場日数／42日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／20点

料 金／無料

入場者数／3,254人

(趣 旨) 郷土資料館には多くの資料が収蔵されている。いずれも地域を知るための貴重な資料であるが、開館以前に収集され、収集経緯の分からない資料も含まれている。中には、思わず「なあとこれ?」とつぶやいてしまうような不可思議な資料もある。本展では館所蔵資料を使い、ゴールデンウィークにあわせて、大人も子どもも謎解き感覚で楽しむことのできる展示を目指す。

(内 容) 特定の分野に限らず、様々な分野の中から資料を選抜した。謎解き感覚で楽しむことができるように、クイズ形式で展示を演出した。資料のキャプションには、資料名や資料解説は表示せず、資料の状況説明だけにとどめておき、展示ケース前に設置した「正解シート」に資料名と資料解説を記載した。見学者は資料を見て、それが何かを考え想像し、最終的に各自が正解シートを手に取り正解を確認する流れを取った。

(担 当) 佐川・北水



夏季企画展『東海道大磯宿－小島本陣資料を読み解く－』

期 間／平成24年7月21日(土)～9月9日(日)

開場日数／42日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約57点

料 金／無料

入場者数／2,916人

(趣 旨) 大磯宿にはかつて本陣が三家あったが、いずれも絶家し、唯一、小島家の歴史資料のみを郷土資料館で所蔵している。当資料群は当時の大磯宿の様相を伝える貴重な資料であるが、郷土資料館の資料として全面的に紹介することは今までなかった。今後、歴史資料の整理と活用を進めることを展望として、改めて小島本陣資料を整理し、資料から明らかになる東海道大磯宿を紹介する。

(内 容) 「東海道大磯宿」、「大磯宿の本陣」、「小島本陣の休治帳」、「本陣と大名のつながり」、「明治天皇の東幸と大磯宿」の5つのテーマ構成で、小島本陣資料を中心に展示した。

1) 東海道大磯宿

宿場町の様相がわかる検地帳や明細帳を中心に展示した。宿場町の規模を示す人口や家数などは表にまとめ、パネルを作成した。東海道大磯宿の模型は町商会から、東海道分間延絵図は神奈川県立歴史博物館から借用した。

2) 大磯宿の本陣

大磯宿の本陣について解説した。小島家の系図、菩提寺(地福寺)との関係がわかる資料、間取図などを中心に展示した。



3) 小島本陣の休泊帳

小島本陣資料の中でも特に貴重な休泊帳を全て公開した。それぞれの帳面の特徴や、休泊帳からわかることをグラフを作成して解説した。関連資料として宿割札を展示した。

4) 本陣と大名のつながり

本陣は立場上、宿泊者である大名とのつながりが深く、献上品と拝領品をやり取りすることによって、定宿としての由緒をかためていた。このテーマでは、小島本陣が拝領品として受け取った和歌の短冊や絵、由緒をつくる過程がうかがえる資料などを中心に展示した。

5) 明治天皇の東幸と大磯宿

江戸時代が終わるとともに、宿場町と本陣はその役割を終えたが、すぐにその機能が失われたわけではない。小島本陣は、明治天皇が東幸したときの行在所を務めており、最後の大事な仕事を果たした。この時の部屋割にかかわる資料と、昭和初頭に明治天皇の聖蹟を記念した関係資料を展示した。

その他のコーナー

安政6年(1859)の初年で作られた献立を紹介し、どのような食事が出されたかを、解説パネルを作成して展示した。また、参考資料として、江戸時代に使用されたと考えられる膳櫃一式と徳利を展示した。

解説が難しい資料については、解説シートを作成し、企画展示室内の解説シートコーナーに設置して配布した。

希望者に対して展示解説を行い、計14件、28人に対して解説を行なった。

(担当) 大石

学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋』

期 間／平成24年10月20日(土)～12月9日(日)

開場日数／42日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約150点

料 金／無料

入場者数／4,578人

(趣 旨) 小学校4年生理科「生き物のくらし(3)秋の自然」、中学校理科「植物の世界」の学習支援を目的とした学習参考資料展を開催する。身近な植物の分布状況を概観することで、地区間の植物相の違いを確認するとともに植物個々の環境適応性について知識を深める。

展示の趣向としては、前年度、前々年度の春、夏の植物をテーマとした植物の展示と同様に、すべてが完成した状態で展示するのではなく、展示が始まって調査を継続し、その都度、新しい情報を追加する手法を取るとともに一般の方でも展示制作者の一員として参加できるような展開を組む。

(内 容) 展示資料の収集はふたつの方で進めた。ひとつが住民参加型の調査「みんなで町の自然を調べよう～秋の七草の分布しらべ～」による対象植物の分布データの収集、もうひとつが公募による秋の花、実の写真の収集である。「みんなで町の自然を調べよう」では大磯町、近隣市町にお住まいの26の方々にご参加いただき、写真は11の方々からご提供いただいた。

展示は「秋の七草の分布」、「キク科センダングサ属の植物の分布」、「調査会で選んだ秋の草花の分布」、「秋の花の色々」、「果実の色々」の5つのテーマで構成した。秋の七草、キク科センダングサ属の植物、調査会で選んだ秋の草花の分布は「みんなで町の自然を調べよう」の調査結果を中心に分布状況、他種との見分け方、調査で分かったこと等を紹介した。「秋の花の色々」はご提供いただいた写真をA3判に引き伸ばして展示した。展示した写真パネルは展示初日56点であったが、徐々に増え、最終的に71点になった。「果実の色々」は昇降台に調査期間に見られた果実の写真や乾燥標本を展示した。

(担当) 北水



学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬』

期 間／平成 24 年 12 月 22 日(土)～平成 25 年 2 月 17 日(日)

開場日数／43 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 100 点(ドングリの標本を除く)

料 金／無料

入場者数／3,545 人

(趣 旨) 小学校 4 年生理科「生き物のくらし(4)冬の自然」、中学校理科「植物の世界」の学習支援を目的とした学習参考資料展を開催する。身近な植物の分布状況を概観することで、地区間の植物相の違いを確認するとともに植物個々の環境適応性について知識を深める。

展示の趣向としては、春、夏、秋の植物をテーマとした展示と同様にすべてが完成した状態で展示するのではなく、展示が始まって調査を継続し、その都度、新しい情報を追加する手法を取るとともに一般の方でも展示制作者の一員として参加できるように展開を組む。

(内 容) これまでに開催した学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花(と実)』シリーズと同様に、ふたつの方で展示資料を収集した。ひとつが住民参加型の調査「みんなで町の自然を調べよう～身近な草木の実と冬の花しらべ～」による対象植物の分布データの収集、もうひとつが公募による冬の花、実の写真の収集である。「みんなで町の自然を調べよう」では大磯町、近隣市町にお住まいの 32 の方々にご参加いただき、写真は 10 の方々からご提供いただいた。

展示は「赤い実をつける草木の分布」、「ドングリをつける樹木の分布」、「帰化植物の分布」、「冬の花の色々」、「果実の色々」、「町中の大きな木」、「町中の珍しい木」、「ドングリの色々」、「マツボックリの色々」、「木の実の色々」の 10 のテーマで構成した。「赤い実をつける草木の分布」、「ドングリをつける樹木の分布」、「帰化植物の分布」は「みんなで町の自然を調べよう」の調査結果を中心に分布状況、他種との見分け方等を紹介した。「町中の大きな木」、「町中の珍しい木」は「みんなで町の自然を調べよう」で大木や本町では希少な樹木をリスト化し、地図上に位置を示した。「ドングリの色々」、「マツボックリの色々」、「木の実の色々」は乾燥させた標本を展示した。「冬の花の色々」、「果実の色々」はご提供いただいた写真を A3 判に引き伸ばして展示した。展示した写真パネルの枚数は、それぞれ展示初日は 20 点、24 点であったが、最終的に 24 点、28 点になった。

(担 当) 北水



春季企画展『大磯の災害 一かつてこの地で起きたこと一』

期 間／平成 25 年 3 月 9 日(土)～5 月 12 日(日)

開場日数／54 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 63 点

料 金／無料

入場者数／6,277 人

(趣 旨) 東日本大震災をきっかけに各地で歴史災害が注目される中、大磯町においても過去の災害に対する関心が高まっている。東日本大震災から 2 年、また、関東大震災から 90 年という節目を機会に、大磯町域にかつて被害を与えた自然災害について、歴史資料を中心に考古資料や地質資料も交えて展示と解説を行なう。

(内 容) 大磯町域に影響を与えた自然災害を、「地震」、「風水害」、「噴火」の 3 つのテーマに分けて、関係資料を展示しながら解説した。

1) 地震

町域に影響を与えた過去の地震に主眼を置き、地域の詳しい



被害内容がわかる資料を調査した。予想はしていたが、たどることが可能な時代は江戸時代であり、江戸時代に発生した地震についても今回は元禄地震と嘉永6年(1853)の小田原地震に関する資料しか見出すことができなかった。具体的には、元禄地震の様子を書いた「祐之地震道記」、嘉永6年の地震の様子を描いた「相模国大地震之図」を展示した。明治時代以降は、関東大震災を取り上げ、旧大磯町行政資料や当時の測量記録、日誌、写真帖を中心に展示し、大磯町域における被害実態を明らかにすることを試みた。補足資料として「過去の地震一覧」を配布した。

2) 風水害

大磯町は沿岸に面しているという地理的条件から、台風の影響を受けてきた。台風と考えられる大風雨に関する江戸時代の資料や、大正6年(1917)の高潮被害に関する資料を展示した。補足資料として「過去の風水害一覧」を配布した。

3) 噴火

大磯町域の近辺には活発に活動している火山がないため、有史に大きな被害を受けた記録はない。しかし、江戸時代に起こった富士山の宝永噴火では降灰被害を受けた。火山の噴出物が堆積するとどのような被害が起こり得るのか、砂降りによって被害を受けた耕地の様子を示す資料や、宝永噴火の火山灰の実物、降灰によって川底が上昇した花木川の治水に関する資料を展示した。

4) その他

当館が所蔵する関東大震災体験者が語る体験談をデジタルデータに変換し、関東大震災の被害写真と組み合わせて展示室内で再生した。過去の自然災害による被害を視覚的にわかりやすくするために、「大磯の災害早わかりマップ」を作成し、昇降台に設置した。平塚市博物館のご協力をいただき、地盤図のデータを活用して、遺跡の分布と関東大震災の被害を組み合わせた図を作成し、展示した。

【関連行事】

春季企画展関連企画講演会「大磯の地震被害と地盤を知る」

期 日/平成25年3月20日(水・祝)

場 所/郷土資料館 研修室

講 師/北原奈子氏(立命館大学歴史都市防災研究センター教授)、
森慎一氏(平塚市博物館学芸員)

参加人数/126人

(内 容)大磯の過去の災害(主に地震)をテーマに、歴史学および地質学の専門家から講演いただき、歴史災害について多角的な検証を行なった。



パネル展示「災害から地域資料を守る～全国・県内でのとりくみ～」

期 日/平成25年3月9日(土)～5月12日(日)

場 所/郷土資料館 廻廊

共催団体/神奈川県歴史資料保全ネットワーク

(略称: 神奈川県資料ネット)

(内 容) 阪神・淡路大震災をきっかけに、全国で被災した歴史資料等を救出するネットワークが結成され、東日本大震災においても被災地域で結成されたネットワークの活動が報告されている。神奈川県においても平成23年7月に神奈川県歴史資料保全ネットワークが結成された。神奈川県資料ネットの活動や東日本大震災等における資料の救出活動を紹介するパネルを作成し、企画展の会期中、郷土資料館の廻廊に展示した。



展示解説

期 日/平成25年3月24日(日)、4月28日(日)、5月5日(日・祝)

場 所/郷土資料館 企画展示室

(内 容) 担当学芸員が企画展示の内容を30分程度で解説した。上記日程以外にも希望者に対して展示解説を行ない、計5件、14人に対して解説を行なった。

(担 当) 大石



■ 学級・講座

<古文書裏打クラブ>

①通常講座

期 日／平成24年4月21日(土)、5月19日(土)、6月16日(土)、7月21日(土)、8月18日(土)、9月1日(土)、11月17日(土)、12月15日(土)、平成25年1月19日(土)、2月16日(土)、3月16日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふち氏、吉原悦子氏

参加人数／延147人

(内 容)裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行なうワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。また、昨年度から随時会員を募集することとし、通常講座においても希望者がある場合は、見学、体験を受け付け、実際に裏打ち作業を体験していただいた。なお、9月、11月については、通常講座として作業を進める一方で、博物館実習生を対象とした体験講座、一般を対象とした公開講座として開催した。

②博物館実習体験講座

期 日／平成24年9月1日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打クラブ会員

体験者数／3人

(内 容)博物館学芸員資格を取得するために当館において実習中の博物館実習生を対象に、実習カリキュラムの一環として開催した。古文書裏打クラブの会員による指導で、のり作りから裏打ちまでの全工程の体験実習を行なった。

③おおいそ文化祭・古文書裏打ち体験

期 日／平成24年11月17日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打クラブ会員

体験者数／1人(見学者5人)

(内 容)おおいそ文化祭の参加行事の一つとして、一般の方を対象に古文書裏打ち体験会を開催した。希望者には実際に裏打ち作業を体験していただいた。

(担 当)大石・保坂

<古文書解説クラブ>

期 日／平成24年8月4日(土)、9月15日(土)、10月6日(土)、11月3日(土)、12月8日(土)、平成25年1月5日(土)、2月2日(土)、3月2日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延108人

(内 容)郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解説することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、8月から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。初回到古文書の取り扱い方などを解説した後は、実際に古文書を解説している。解説の対象資料は、かつて、古文書裏打クラブで修復した伊東家(山口修氏)旧蔵資料であり、今年度はこの資料群の解説を行なった。解説作業は、会員の習熟度別に筆写班と学習班に分かれて行なった。筆写班の方には希望の資料を解説し、原稿用紙に書き写していただき、解説が終わった資料について、読み方や内容を報告していただいている。学習班については、担当が解説するかたちで資料の解説を行ない、解説が終わった段階で代表者に内容を報告していただいた。今年度は計14点の資料を解説した。

(担 当)大石・保坂



＜石仏クラブ＞

期 日／平成24年4月7日(土)、6月2日(土)、7月7日(土)、9月1日(土)、10月6日(土)、平成25年1月12日(土)、3月2日(土)

場 所／高麗地区、大磯地区(山王町、神明町、北下町)

参加人数／延40人

(内 容) 当町では、過去に石造物の悉皆調査を実施し、その成果を大磯町文化財調査報告書「石造物調査報告書」としてまとめている。調査実施後、既に盗難、破損、移動、新設された石造物も少なくない。そのため、再調査を当館のワークショップとして開始した。本ワークショップでは、石造物の記録写真撮影や実測、碑文を調査カードに記入する作業を会員と協力して行なっている。本年度は7回の調査を実施し、高麗、山王町、神明町、北下町を踏査した。この結果として、前調査の誤りや多くの石造物を新たに確認することができた。

(担 当) 保坂・佐川



＜大磯自然観察会＞

期 日／平成24年4月28日(土)、5月12日(土)・26日(土)、6月23日(土)、平成25年2月9日(土)・23日(土)、3月9日(土)

※平成24年6月9日(土)は雨天のため中止とした。

場 所／大磯運動公園、大磯町西小磯地区、

郷土資料館 研修室

参加人数／延99人

(内 容) 本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成11年度に活動を開始した。これまでに第1次調査 秋の植物分布調査〔平成11年度・12年度〕、第2次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成13～17年度〕、第3次調査 星槎湘南大磯キャンパス(万台こゆるぎの森)の植物調査〔平成18～20年度〕を実施してきた。現在は第4次調査として、大磯運動公園の植物調査を行なっている。本年度は8回の活動を予定していたが、雨天のため1回が中止となり、7回の活動となった。内容としては大磯運動公園の花暦調査を5回、海岸の植物調査を1回、町中の大木調査を1回実施した。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
4月28日	大磯運動公園の花暦調査	6月23日	大磯運動公園の花暦調査
5月12日	海岸の植物調査	2月9日	大磯運動公園の花暦調査
5月26日	大磯運動公園の花暦調査	2月23日	町中の大木調査
6月9日	- 雨天のため中止 -	3月9日	大磯運動公園の花暦調査

(担 当) 北水



＜海の森クラブ＞

期 日／平成24年4月7日(土)、5月20日(日)、6月21日(木)、7月12日(木)、10月28日(日)、平成25年1月17日(木)、2月16日(土)、3月14日(木)

※平成24年4月26日(木)は雨天のため中止とした。

場 所／町内海岸、大磯港港湾管理事務所

参加人数／延20人

(内 容) 本年度3年目となるワークショップ。大磯町の海藻の目録化を目的として活動を進めている。本年度は季節ごとに海藻の生育状況を確認するため、照ヶ崎海岸と大磯港で定点観察を実施した。また、5月には海の教室『磯の生き物観察会』で海藻についての講話を行なうとともに10月には海の教室『楽しい海藻おしばづくり』でおしばづくりの指導にあたった。



(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
4月7日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察	10月28日	海の教室『楽しい海藻おしぼづくり』おしぼづくりの指導
4月26日	— 雨天のため中止 —	1月17日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察
5月20日	海の教室『磯の生き物観察会』海藻についての講話	2月16日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察
6月21日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察	3月14日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察
7月12日	平成22年5月から平成24年6月までの標本、写真、観察データの集計		

(担 当) 高山・北水

＜海の教室＞

①磯の生き物観察会

期 日/平成24年5月20日(日)

場 所/照ヶ崎海岸

講 師/福田良昭氏(相模貝類研究談話会会長)

参加人数/30人

②アオバト観察会

期 日/平成24年6月24日(日)

場 所/照ヶ崎海岸

講 師/斎藤常實氏(こまたん)・金子典芳氏(こまたん)

※こまたん/湘南地域を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体

参加人数/37人

③楽しい海藻おしぼづくり

期 日/平成24年10月28日(日)

場 所/郷土資料館 研修室

講 師/ワークショップ“海の森クラブ”メンバー

参加人数/15人

(内 容) 特定の学問分野に拘らず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成12年度から実施している。平成24年度は生き物観察を中心に計3回実施した。具体的な内容としては磯の生き物観察、アオバト観察会、楽しい海藻おしぼづくりを各1回行なった。

(担 当) 北水・高山

＜みんなで町の自然を調べよう 一秋の七草の分布しらべ＞

[ガイドダンス・合同調査・調査のまとめ]

期 日/平成24年7月28日(土)、8月25日(土)・9月22日(土)・29日(土)、10月10日(水)・13日(土)、16日(火)・17日(水)

場 所/郷土資料館 研修室、大磯町内各所

参加人数/延112人

(内 容) 一昨年度、昨年度実施した春の植物、夏の植物の分布調査に引き続き、秋の植物をテーマに調査を実施した。対象とした植物は調査参加者との話し合いのもと、秋の七草(マルバハギ、ススキ、キキョウ、カワラナデシコ、クズ、フジバカマ、オミナエシ)とキク科センダングサ属の植物(アメリカセンダングサ、コセンダングサ、コシロノセンダングサ、センダングサ)、秋に目立つ植物(イヌタデ、カラスウリ、サクラタデ、センニンソウ、ツリガネニンジン、ヒガンバナ、ヒヨドリバナ)の計18種を対象とした。調査期間中、調査者間の情報の共有を目的に8月から10月にかけて4回の合同調査を実施し、調査終了後には、調査者全員でデータの整理を行なった。



(各回の活動内容)

月 日	内 容	場 所
7月28日	ガイダンス	郷土資料館 研修室
8月25日	合同調査	大磯町西小磯
9月22日	合同調査	大磯町大磯
9月29日	合同調査	大磯町虫窪
10月10日	合同調査	大磯町生沢
10月13日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
10月16日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
10月17日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室

〔個別調査〕

調査期間／平成24年8月7日（立秋）～11月6日（立冬の前日）

場 所／大磯町全域

活動内容／大磯町の地図を17分割し、それぞれの担当区域を決めた後、個別に対象区域を数回巡回し、記録を取った。

参加人数／26人

（担 当）北水

くみみんなで町の自然を調べよう ー身近な草木の実と冬の花しらべー

〔ガイダンス・合同調査・調査のまとめ〕

期 日／平成24年10月27日（土）、11月10日（土）・24日（土）、12月5日（水）・12日（水）・16日（日）・18日（火）・19日（水）

場 所／郷土資料館 研修室、大磯町内各所

参加人数／延93人

（内 容）春、夏、秋の植物の分布調査に引き続き、冬の植物をテーマに調査を実施した。対象とした植物は調査参加者との話し合いのもと、赤い実をつける草木（アオキ、ガマズミ、クコ、サンゴジュ、ナンテン、ニシキギ、ニセジュズネノキ、ヒヨドリジョウゴ、マンリョウ、ヤブコウジ）、ドングリをつける樹木（スタジイ、ツブラジイ、マテバシイ、コナラ、クヌギ、カシワ、ウバメガシ、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシ）、帰化植物（セイタカアワダチソウ、オオバタカサ）の計22種とした。調査期間中、調査者間の情報の共有を目的に11月から12月にかけて4回の合同調査を実施し、調査終了後には、調査者全員でデータの整理を行なった。

（各回の活動内容）



月 日	内 容	場 所
10月27日	ガイダンス	郷土資料館 研修室
11月10日	合同調査	大磯町西小磯
11月24日	合同調査	大磯町大磯
12月5日	合同調査	大磯町生沢
12月12日	合同調査	大磯町虫窪
12月16日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
12月18日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
12月19日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室

〔個別調査〕

調査期間／平成24年11月7日（立冬）～平成25年2月4日（立春の前日）

場 所／大磯町内

活動内容／大磯町の地図を17分割し、それぞれの担当区域を決めた後、個別に対象区域を数回巡回し、記録を取った。

参加人数／32人

（担 当）北水

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの充実>

郷土資料館のWebサイト内[大磯町郷土資料館ノート]に館活動情報等を掲載し、発信した。

(月別アクセス数)

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	1,716	2,738	1,625	1,651	1,523	1,445	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2,246	2,211	2,822	2,467	2,828	4,807	28,079

(担 当) 曾根田・保坂

■ 学校教育との連携

<児童・生徒を対象とした学習指導>

	学校から郷土資料館へ (郷土資料館の見学、学習指導)		郷土資料館から学校、町内各所へ (郷土資料館外への講師派遣)	
幼稚園 保育園	10月12日	国府幼稚園、たかとり幼稚園 国府保育園3園合同遠足	/	
	10月25日	梅の木幼稚園(二宮町)遠足		
	12月6日	苗・花ももん保育園(平塚市) 遠足		
	3月5日	たかとり幼稚園遠足		
小学校	5月18日	国府小学校3年生社会科学習 「わたしたちのまちはどんなまち」	5月25日	国府小学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
	5月22日	国府小学校1年生遠足	9月11日	国府小学校3年生理科学習 「いろいろなこん虫のかんさつ」
	10月17日	大磯小学校2年生遠足	9月13日	国府小学校3年生理科学習 「いろいろなこん虫のかんさつ」
	10月25日	国府小学校4年生遠足 「昔から今へと続くまちづくり」	11月6日	国府小学校5年生総合学習 「鷹取山について調べよう」
	11月7日	国府小学校生沢分校歴史授業	11月9日	国府小学校5年生総合学習 「鷹取山について調べよう」
			11月27日	国府小学校6年生総合学習 「将来の夢について考えよう」 国府小学校6年生総合学習 「化石探しをして展示しよう」
中学校	3月12日	国府中学校1年生課外活動	11月30日	国府小学校6年生総合学習 「化石探しをして展示しよう」
			5月25日	国府中学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
			12月12日	大磯中学校1年生総合学習 「左義長について」

<教員を対象とした講義>

- ・大磯町立学校新採用職員研修(5月)
- ・総合学習に生かせる大磯の自然散策(8月)

<その他の活動>

- ・小学4年生から使用する理科副読本「大磯の自然－磯の生物編－」の作成(年間)

(担 当) 國見・北水・大石・保坂

■ 他の博物館・生涯学習施設との連携

<自然史系博物館標本データ整備事業への参加>

自然史標本データベース神奈川委員会の参加館として、貝類3,000件のデータベースを整備し、データ提供を行なった。本データは国立科学博物館 Web サイト内「サイエンスミュージアムネット」で検索、閲覧が可能である。

(担 当) 北水

<神奈川県立神奈川近代文学館主催「生涯140年記念 島崎藤村展」の事業協力>

神奈川県立神奈川近代文学館において10月6日から11月18日にかけて開催された「生涯140年記念 島崎藤村展」に資料の提供等の協力を行なった。また、同展において協力名義使用の申請があり、協力した。

(担 当) 國見・曾根田

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・『大磯の災害 ーかつてこの地で起きたことー』図録 A4判12頁 800部 (平成25年3月刊)
- ・学習参考資料展図録『みんなで調べた 大磯町の春花 調査結果』 A4判12頁 500部 (平成25年3月刊)
- ・資料館資料13『ワークショップ“草と木の調査”活動報告書Ⅱ 万台こゆるぎの森の植物』 A4判48頁 500部 (平成25年3月刊)
- ・『Reportー大磯町郷土資料館だより』33 A4判 8頁 800部 (平成25年3月刊)
- ・『年報ー平成23年度ー』 A4判42頁 400部 (平成25年3月刊)

<チラシ・パンフレット>

- ・夏季企画展『東海道大磯宿ー小島本陣資料を読み解くー』チラシ A4判両面 4,000部 (平成24年7月刊)
- ・常設展リーフレット『受け継がれる地曳網』 B5判4頁 2,000部 (平成24年9月刊)
- ・学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋』チラシ A4判両面 3,000部 (平成24年10月刊)
- ・学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012ー2013・冬』チラシ A4判両面 2,000部 (平成24年12月刊)
- ・『大磯の災害 ーかつてこの地で起きたことー』チラシ A4判両面 6,000部 (平成25年2月刊)
- ・利用案内 A4判両面・三つ折 3,000部 (平成25年2月刊)



<その他>

- ・講座通信『木荔枝ー大磯自然観察会通信ー』 A4判2~4頁 コピ-対応 (平成24年4,7,8,9,10,11,11月、平成25年1月刊)
- ・講座通信『海の森通信』 A4判2~4頁 コピ-対応 (平成24年4,5,5,6,8,11月、平成25年1,3月刊)

■ 調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査/年間/大磯町内外(佐川・國見・北水・大石・曾根田・諏訪部・高山・保坂)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席/年間/神奈川県歴史博物館(佐川・國見)
- ・桜美林大学博物館実習講義/年間/桜美林大学(佐川)
- ・駒澤大学博物館学講座講義/年間/駒澤大学(國見)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」出席/4月19日、5月11日、6月13日、7月12日、8月2日、8月22日、11月13日/教育研究所ほか(北水)
- ・新採用職員研修講義/4月19日/大磯町役場本庁舎(佐川)
- ・科学研究費補助金「近代地方公文書アーカイブスの構造と情報に関する学際的総合研究」の研究打ち合わせ・資料調査会出席/5月13日、6月10日、7月8日、8月12日、9月9日、11月11日、12月9日、1月13日、2月10日/立川市歴史民俗資料館(大石)
- ・大磯町立学校新採用教職員研修会講義/5月15日/郷土資料館(北水)
- ・大磯町立国府小学校3年生社会科学習「わたしたちのまちはどんなまち」指導/5月18日/郷土資料館(國見・大石)
- ・大磯町立国府小・中学校生沢分校総合学習「漂着物を使った美術品製作」指導/5月25日/神奈川県立おおいそ学園(北水)
- ・日本考古学協会第78回総会出席/5月27日/立正大学(國見)
- ・全国歴史民俗系博物館協議会設立集会および研究会参加/6月14日/東京都江戸東京博物館(大石)
- ・自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会出席/6月15日/国立科学博物館(北水)
- ・神奈川県地域史研究会2012年度総会および総会シンポジウム参加/6月23日/横浜市歴史博物館(大石)
- ・相模民俗学会例会参加/7月15日/横浜市歴史博物館(保坂)
- ・社会福祉法人・児童養護施設「エリザベス・サンダース・ホーム」収蔵資料調査/7月15・16・17日/エリザベス・サンダース・ホーム(大石)
- ・平塚市環境政策課主催夏休み子ども環境教室〔海編〕指導/8月1日/平塚新港周辺(北水)
- ・岩手県陸前高田市被災公文書のレスキュー作業/8月7・8日/岩手県陸前高田市被災市役所(大石)
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導/8月22日/高麗山(北水)
- ・大磯町立国府小学校3年生理科学習「いろいろなこん虫のかんさつ」指導/9月11・13日/大磯町立国府小学校(北水)
- ・文明開化期の総武地域史研究会第16回研究会参加/9月13日/横浜市歴史博物館(大石)
- ・文化庁主催第2回ミュージアム・エデュケーター研修参加/9月26・27・28日、2月7・8日/東京都美術館他(大石)
- ・大磯町立国府小学校4年生社会科学習「昔から今へと続くまちづくり」指導/10月25日/郷土資料館(國見・大石・保坂)
- ・第7回無形民俗文化財研究協議会参加/10月26日/東京国立博物館(保坂)
- ・神奈川県立神奈川近代文学館主催大磯文学散歩講義/11月2・15日/郷土資料館(國見・曾根田)
- ・文明開化期の相武地域史研究会第17回研究会「幕末の東海道藤沢宿御郷村一御備場御用による助郷体制の変化」報告/11月2日/横浜開港資料館(大石)
- ・大磯町立国府小学校5年生総合学習「鷹取山について調べよう」指導/11月6・9日/大磯町立国府小学校、鷹取山(北水)
- ・品川区立品川歴史館主催特別展記念講演会「発掘された鉄道—新橋駅—横浜駅の発掘調査から明治・大正の鉄道を考える—」講演/11月11日/品川区立品川歴史館(國見)
- ・大磯町観光協会主催郷園文化事業・大磯2012秋事業「伊藤博文公及び三井財閥総本家別荘について」講義/11月13・16日/郷土資料館(國見)
- ・大磯町立国府小学校6年生総合学習「将来の夢について考えよう」指導/11月27日/大磯町立国府小学校(北水)
- ・大磯町立国府小学校6年生総合学習「化石探しをして展示しよう」指導/11月27・30日/大磯町立国府小学校、谷戸川上流(北水)
- ・隠れキリシタン資料館実行委員会出席/12月7日、1月17日、2月26日/エリザベス・サンダース・ホーム(國見・大石)
- ・日本考古学協会入会資格審査委員会出席/12月8日/日本協古学協会事務所(國見)

- ・大磯町身体障がい者福祉協会出前講座「近代の大磯」講義／2月6日／横溝千鶴子記念障害福祉センター（國見）
- ・第3回近世陶磁研究会参加／2月16日／千代田区立日比谷図書文化館（國見）

<施設・展示解説>

- ・厚木市 近藤氏他／5月10日／14人（北水）
- ・けんゆう会／5月17日／30人（大石）
- ・厚木市郷土資料館／6月20日／25人（國見・北水）
- ・大磯ガイドボランティア協会／7月6日／18人（曾根田）
- ・松蔭大学／7月22日／2人（北水）
- ・大磯小学校／8月30日／5人（曾根田）
- ・関東学院大学／9月7日／5人（國見・北水）
- ・秦野ぶらり会／10月7日／24人（北水）
- ・大田区郷土の会／10月14日／55人（北水）
- ・茅ヶ崎市海岸青少年会館／10月20日／16人（曾根田）
- ・南足柄市、大磯町老人クラブ連合会／10月22日／24人（佐川）
- ・NHK文化センター／10月27日／22人（北水）
- ・厚木市郷土資料館／11月14日／3人（國見・北水）
- ・関東学院大学／11月17日／7人（國見）
- ・松蔭大学／12月23日／2人（北水）
- ・秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域行政推進協議会／12月26日／16人（國見）
- ・大和市消防団運営委員会／1月27日／14人（國見）
- ・湘南地区選挙管理委員会連合会／3月22日／23人（大石）

<執筆>

國見 徹

2013. 3. 「汽車土瓶の発生と展開～茶容器の変遷～」『品川歴史館紀要』第28号 品川区立品川歴史館

北水 慶一

2013. 3. 「講座『みんなで町の自然を調べよう～夏の七草の分布しらべ～』及び学習参考資料展『みんなで調べた今夏の大磯町の花』の実施報告』『年報－平成23年度－』大磯町郷土資料館
2013. 3. 「2012 アカウミガメ産卵確認の記録」『Report－大磯町郷土資料館だより』33 大磯町郷土資料館
2013. 3. 「『資料館資料13 ワークショップ“草と木の調査”活動報告書II 万台こゆるぎの森の植物』大磯町郷土資料館
2013. 3. 「『みんなで調べた 大磯町の春花 調査結果』大磯町郷土資料館

大石三紗子

2012. 9. 「研修会「東日本大震災に関わる標本レスキューと震災対応」に参加して」『NETWORK－県博協通信』33 神奈川県博物館協会
2013. 3. 企画展『大磯の災害－かつてこの地で起きたこと－』図録 大磯町郷土資料館
2013. 3. 「古文書解説クラブ活動報告」『Report－大磯町郷土資料館だより』33 大磯町郷土資料館
2013. 3. 「平成24年購入資料の紹介」『Report－大磯町郷土資料館だより』33 大磯町郷土資料館

曾根田貴子

2013. 3. 「澤田美喜展の総括」『年報－平成23年度－』大磯町郷土資料館

保坂 匠

2013. 3. 「大磯石仏クラブ活動報告」『Report－大磯町郷土資料館だより』33 大磯町郷土資料館

■ 博物館実習

平成24年度は3大学より3名の学生を受け入れた。実習期間は8月28日から9月8日の間(9月2日・3日を除く)及び7月27日(事前ガイダンス)、9月14日(課題等提出)の計12日間とした。

博物館実習は例年、1週目と2週目とは作業内容を変えて実施している。実習1週目は歴史、民俗、自然各分野の作業や梱包、軸物等資料の取り扱いなど実務的な作業を行ない、2週目は常設展示室の展示替実習を行なった。展示替実習は実習生が主体となって、企画立案から展示に至るまでの作業を進めるもので、本年度は「受け継がれる地曳網」のタイトルに進めた。地曳網漁は大磯町域では古くから行なわれている漁法のひとつであり、方法や現状を写真、模型をとおして紹介した。本展の開催にあたって、実習生は実習期間中の数日、早朝4時に海岸に集合して地曳網の現場取材し、関係者より聞き取りを行なった。本展に関する館所蔵資料は少なく、展示が成り立つかどうか心配されたが、苦勞の甲斐があり、無事、実習期間中に完成した。

<実習生>

藤井 亮子 (同志社女子大学)、多田 祥太郎 (駒澤大学)、深山 藍 (日本大学)

<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
7月27日	金		ガイダンス/館内見学
8月28日	火	講義(資料館の活動概要)	町内施設・史蹟見学
8月29日	水	民具の取り扱い(洗浄作業) /自然フィールドワーク	自然フィールドワーク /民具の取り扱い(整理作業)
8月30日	木	古文書裏打クラブの準備作業	古文書裏打クラブの準備作業 /展示替実習打ち合わせ
8月31日	金	資料梱包	資料梱包/特殊資料の取り扱い /展示替実習打ち合わせ
9月1日	土	古文書裏打クラブに参加	古文書裏打クラブに参加 /展示替実習打ち合わせ
9月4日	火	展示替実習(構想の絞り込み・テーマの選出・事務の振り分け)	
9月5日	水	展示替実習(テーマの選出・資料調査・資料選択)	
9月6日	木	展示替実習(資料調査・資料選択・原稿作成・写真撮影)	
9月7日	金	展示替実習(原稿作成・写真撮影・地曳網模型作製・パネル作製・キャプション作製)	
9月8日	土	展示替実習(地曳網模型作製・パネル作製・リーフレット編集・列品・片付け・展示批評)	
9月14日	金	展示替実習(地曳網模型の修正・資料配置の修正)	



(担当) 北水・國見・大石・曾根田・保坂

■ 博物館資料の収集・整備・利用

<寄贈資料>

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2012-0420	H24. 4. 1	日誌 他	10	小見滋夫 大磯町西小磯	0808	H24. 8. 25	国民學校初等 科終了證書 他	2	飯田善雄 大磯町大磯
0421	H24. 4. 1	稲荷講資料	一括	戸塚浩 大磯町西小磯	0809	H24. 8. 25	私立女子敬業 學校卒業證書	1	森田康夫 大磯町大磯
0422	H24. 4. 1	一本松講中 稲荷資料	一括	宮代治吉 大磯町大磯	0810	H24. 8. 25	浅野總一郎 自解	1	小林敏男 大磯町高麗
0425	H24. 4. 29	ケアシガニ	1	久門建正 大磯町西小磯	0811	H24. 8. 25	浅野總一郎 関係資料	一括	飯田善雄 大磯町大磯
0502	H24. 5. 31	書簡	15	神崎秀珠 東京都港区	0812	H24. 8. 30	屏風下張り 文書	8	上森直美 大磯町東小磯
0601	H24. 6. 9	戦災記録簿	1	大磯駅長 大木潤一	0813	H24. 8. 28	梨本宮守正 別荘平面図	1	東京倉庫運輸 大磯町西小磯
0602	H24. 6. 19	紙幣	7	松本卓次 大磯町国府本部	0902	H24. 9. 5	磯石鍾	1	鈴木昇 大磯町西小磯
0603	H24. 6. 28	色紙	3	河野南歐子 茅ヶ崎市幸町	1001	H24. 10. 11	アサヒ グラフ 他	2	小川路子 大磯町西小磯
0604	H24. 6. 30	ツキンボウ の柄	1	佐藤勇 大磯町大磯	1101	H24. 11. 22	ネズミ トリキ	1	飯田善雄 大磯町大磯
0701	H24. 7. 16	ウナギガマ	3	大磯町 漁業協同組合	1201	H24. 12. 5	写真 他	9	木村純子 大磯町大磯
0702	H24. 7. 20	裾除け 他	76	木村純子 大磯町大磯	1203	H24. 12. 20	絵はがき	10	匿名
0703	H24. 7. 20	貝類標本	一括	杉原充矩 養野市平沢	2013-0101	H25. 1. 6	古文書	99	曾根田奈々子 大磯町高麗
0704	H24. 7. 25	庚申講用具	3	鈴木照子 大磯町西小磯	0102	H25. 1. 14	絵はがき	一括	諏訪部敬子 小田原市鴨宮
0802	H24. 8. 8	火打石 セット 他	2	藤田福代 大磯町国府本部	0301	H25. 3. 28	文化刺繍器 他	一括	原利子 大磯町大磯
0804	H24. 8. 10	祝儀道具 他	一括	内田もと子 大磯町大磯	0302	H25. 3. 28	牡蠣真珠 他	1	山口光一 大磯町国府本部

<寄託資料>

(敬称略、寄託期間：H24. 4. 1 ~ H26. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2012-0401	H24. 4. 1	菊池重三郎 関係資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0412	H24. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区長 西小磯東区長
0402	H24. 4. 1	書籍	2	山川正 大磯町国府新宿	0413	H24. 4. 1	被監帽 他	一括	西小磯東区長
0403	H24. 4. 1	獅子頭	2	裡道区長	0414	H24. 4. 1	伊藤博文 書幅	1	大木伸男 養野市堀山下
0404	H24. 4. 1	古文書	一括	後藤勲 大磯町月京	0415	H24. 4. 1	扁額、壺	2	国府中学校
0405	H24. 4. 1	子供会旗・ 七夕資料 他	一括	西小磯西子ども 会長	0416	H24. 4. 1	永山光幹 関連資料	一式	永山サト子 大磯町西小磯
0406	H24. 4. 1	木造仁王像	2	慶慶院	0417	H24. 4. 1	随神 他	一括	南木町区長
0407	H24. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校	0418	H24. 4. 1	クワガタ「ラッ ン」看板	1	添田光雄 大磯町国府本部
0408	H24. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0419	H24. 4. 1	雛人形	一式	菱沼薫 横浜区緑区
0409	H24. 4. 1	画幅	1	角田豪 茅ヶ崎市萩園	0423	H24. 4. 1	高札	3	坂井孝明 大磯町黒岩
0410	H24. 4. 1	四季耕作図 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0424	H24. 4. 1	屏風 (六曲半双)	1	大久保忠旦 千歳市花見川区
0411	H24. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社					

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2012-0501	H24. 5. 9	書籍	1	大磯町立図書館
1002	H24. 10. 31	NHKTV 放送 台本	1	大磯町 議会事務局

<採集資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2012-0807	H24. 8. 16	陶器	2	大磯町立図書館

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2012-0801	H24. 8. 30	神奈川県震災誌	1	秦川堂書店	0901	H24. 9. 1	書簡	1	高野書店
0814	H24. 8. 30	相州大磯驛西崎立澤記	1	泰成堂書店					

<資料整備資料>

木造神像保存処理委託/楠光園美術研究所

祭り船解体・組立(展示)委託/大磯御船祭保存会

動物剥製製作委託(イカル 1体、ヤマガラ 1体、アカウミガメ 3体)/楠尼ヶ崎科学標本社



イカルの剥製



ヤマガラの剥製



アカウミガメの剥製

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
城山遺跡出土縄文土器	10	美術学習	H24. 4. 1 ～ 10. 3	個人	島崎藤村関係資料	4	展示	H24. 9. 15 ～ 9. 29	神奈川県立神奈川近代文学館
伊藤博文公関連資料	15	展示	H24. 4. 20 ～ 5. 31	光市教育委員会 伊藤公資料館	坂田山南横穴墓群出土遺物	4	資料保存処理	H24. 10. 3 ～ H25. 3. 15	熊本県文化財保存研究所
獅子頭	2	祭事	H24. 7. 11 ～ 7. 17	裡道地区	吉田茂関連資料	4	展示	H24. 10. 30 ～ 10. 31	大磯中学校
随神、屏風、掛軸	5	祭事	H24. 7. 12 ～ 7. 17	南本町地区	吉田茂等身大パネル	1	展示	H24. 11. 10 ～ 12. 4	大磯町都市計画課
無形民俗文化財映像	5	参考資料	H24. 7. 13 ～ 7. 31	秦野市立桜土手古墳展示館	吉田茂等身大パネル	1	展示	H25. 1. 18 ～ 2. 18	大磯町都市計画課
木造神像 形像立像	1	保存処理委託	H24. 8. 29 ～ H25. 3. 1	楠光園美術研究所	伊藤博文公関連資料	一式	祭事	H25. 3. 9 ～ 3. 10	個人

<資料の特別利用 (No. 1) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
吉田茂 風刺漫画	1	データ利用 /テレビ放送	H24.4.17	㈱ドキュメンタ リージャパン	錦絵	1	データ利用 /刊行物掲載	H24.7.10	個人
館内展示	—	撮影 /個人の趣味	H24.4.18	個人	御船祭り写真	3	撮影 /映像制作	H24.7.11	個人
左義長写真	1	データ利用 /刊行物掲載	H24.4.20	神奈川県 政策局	錦絵	1	撮影 /テレビ放送	H24.7.15	㈱フジテレビジョン 情報制作センター
絵はがき	2	データ利用 /研究発表	H24.4.28	個人	古文書	1	撮影 /刊行物掲載	H24.7.20	個人
絵はがき	2	データ利用 /刊行物掲載	H24.4.28	個人	館内展示	3	撮影 /個人の趣味	H24.7.24	個人
本館設備	—	撮影 /研究発表	H24.5.4	個人	館内展示	—	撮影 /研究発表	H24.7.25	個人
松本順 肖像写真	1	模写 /個人の趣味	H24.5.5	個人	館内展示	—	撮影 /個人の趣味	H24.7.27	個人
館内展示	2	撮影 /個人の趣味	H24.5.8	個人	館内展示	—	撮影 /個人の趣味	H24.7.27	個人
博物館実習写真	1	データ利用 /刊行物掲載	H24.5.8	日本大学 通信教育部	錦絵	1	データ利用 /テレビ放送	H24.8.2	毎日放送 テレビ制作センター
吉田茂書簡	1	データ利用 /テレビ放送	H24.5.12	TBSテレビ 情報制作局	海水浴場 関連資料	3	データ利用 /テレビ放送	H24.8.3	㈱フジテレビジョン バラエティ制作センター
絵はがき	26	撮影 /刊行物掲載	H24.5.15	平塚市博物館	外観、 館内展示	1	データ利用 /刊行物掲載	H24.8.15	大磯町総務課
外観、館内展示	3	撮影 /映画資料	H24.5.22	㈱シネ パザール	館内展示	—	撮影 /研究発表	H24.8.26	個人
館内展示	1	撮影 /個人の趣味	H24.5.24	個人	外観、館内展 示、実習風景	—	撮影 /研究発表	H24.8.28	博物館実習生
城山荘模型	1	撮影 /刊行物掲載	H24.5.24	三井広報 委員会	外観、館内展 示、実習風景	—	撮影 /研究発表	H24.8.28	博物館実習生
鳴立澤標石	1	撮影 /個人の趣味	H24.5.26	個人	外観、館内展 示、実習風景	—	撮影 /研究発表	H24.8.28	博物館実習生
島崎藤村 関係資料	6	撮影 /刊行物掲載	H24.6.8	神奈川県立神奈 川近代文学館	御船祭り写真	1	撮影 /映像制作	H24.8.30	個人
海水浴場 関連資料	5	撮影 /刊行物掲載	H24.6.11	㈱S I C	小島本陣 関係資料	1	撮影 /展示	H24.9.2	(国)郡山城史跡・ 柳沢文庫保存会
館内展示	1	撮影 /個人の趣味	H24.6.12	個人	絵はがき	13	データ利用 /刊行物掲載	H24.9.5	個人
館内展示	3	撮影 /個人の趣味	H24.6.14	個人	館内展示	—	撮影 /個人の趣味	H24.9.11	個人
絵はがき、 館内展示	9	撮影 /テレビ掲載	H24.6.15	個人	書籍 (大空の掟笈)	1	撮影 /個人的研究	H24.10.6	個人
館内展示	3	撮影 /個人の趣味	H24.6.17	個人	館内展示	7	撮影 /個人の趣味	H24.10.16	個人
錦絵	1	撮影 /刊行物掲載	H24.6.19	大磯ガイドボラ ンティア協会	館内展示	3	撮影 /個人の趣味	H24.10.19	個人
書幅	1	撮影 /研究発表	H24.6.20	個人	脇差	1	保存処理	H24.10.19	西小磯地区
古文書	1	撮影 /研究発表	H24.6.26	個人	館内展示	1	撮影 /個人の趣味	H24.10.25	個人
横穴墓復元模型	1	模写 /作品制作	H24.6.28	個人	鳴立澤標石	1	撮影 /テレビ放送	H24.10.26	㈱NEXTEP
高安神社 男神立像	1	データ利用 /刊行物掲載	H24.7.4	㈱少年社	アルミ箆 テープ	1	撮影 /刊行物掲載	H24.10.31	岡山空襲 関連展示室 他
絵はがき	1	データ利用 /テレビ掲載	H24.7.5	神奈川県 県民局	松本順生人形	1	撮影 /テレビ放送	H24.10.31	㈱ネクサス
海水浴場 関連資料	7	データ利用 /テレビ放送	H24.7.9	札幌テレビ放送 報道制作局	海水浴場 関係資料	4	データ利用 /研究発表	H24.11.8	個人

<資料の特別利用 (No. 2) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
木造仁王像	1	模写 / 個人の趣味	H24.11.13	個人	伊藤博文 家族写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H25.2.8	海洋泉社
絵はがき	3	データ利用 / 刊行物掲載	H24.11.16	平塚市 花木公民館	絵はがき	1	模写 / 刊行物掲載	H25.2.14	個人
絵はがき	3	データ利用 / 刊行物掲載	H24.11.16	大磯町教育委員会 学校教育課	小島本陣関係 資料	8	撮影 / 参考資料	H25.2.15	神奈川県立 歴史博物館
古地図、書籍	5	撮影 / 研究発表	H24.12.2	個人	古文書	4	撮影 / 研究発表	H25.2.15	個人
吉田茂愛用品	3	撮影 / 個人的研究	H24.12.4	興行研	バックヤード	5	撮影 / 参考資料	H25.2.26	個人
絵はがき	2	データ利用 / 刊行物掲載	H24.12.10	非人物往来社	関東大震災 写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H25.2.27	タウン ニュース社
館内展示	-	撮影 / 映像制作	H24.12.11	興毎日映画社	関東大震災 写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H25.3.6	神奈川新聞 平塚支局
庚申講資料	-	撮影 / 個人的研究	H24.12.11	個人	小島本陣関係 資料 他	3	データ利用 / 刊行物掲載	H25.3.7	神奈川県立 歴史博物館
錦絵	1	データ利用 / 刊行物掲載	H24.12.27	朝日新聞 平塚支局	古文書	一括	撮影 / 研究資料	H25.3.19	春日部市 教育委員会
吉田茂愛用品	3	撮影 / 刊行物掲載	H25.1.8	興行研	外観、館内展 示、絵はがき	5	撮影、データ利用 / 刊行物掲載	H25.3.19	個人
関東大震災資料	7	撮影 / 研究発表	H25.1.8	個人	館内展示	-	撮影 / 個人の趣味	H25.3.20	個人
館内展示、裏打ち 作業風景	2	データ利用 / 撮影掲載	H25.1.22	グローバル デザイン株式会社	館内展示	-	撮影 / 撮影掲載	H25.3.21	個人
外観、館内展示	6	データ利用 / 刊行物掲載	H25.1.28	東海大学経済学 格教育センター	錦絵	1	撮影 / 映像制作	H25.3.22	興毎日映画社
海水浴場、 別荘写真	9	データ利用 / プレゼン資料	H25.1.29	大磯町 産業観光課	館内展示	-	撮影 / 撮影掲載	H25.3.23	個人
絵はがき	1	データ利用 / 参考資料	H25.1.29	大磯町教育委員会 文化財保護課	鳴立澤標石	1	撮影 / 刊行物掲載	H25.3.26	個人
錦絵	1	データ利用 / 撮影掲載	H25.2.6	大磯町 産業観光課	館内展示	-	撮影 / 刊行物掲載	H25.3.26	個人
島崎藤村 旧宅写真	2	データ利用 / 刊行物掲載	H25.2.6	ジグレイブ株式会社	錦絵	1	データ利用 / 刊行物掲載	H25.3.29	興鹿島出版会

<備品等の貸出>

備品名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
公用車	1	消防救助訓練 会物品搬送	H24.5.22 ～ 5.23	大磯町消防署	テーブル、椅子	12	講座	H24.10.26	大磯町 スポーツ推進課
公用車	1	消防救助技術指 導会職員送迎	H24.6.13 ～ 6.14	大磯町消防署	プロジェクター スクリーン	一 式	研修会	H24.11.10	国府保育園 保護者会
公用車	1	緊急消防援助 隊物品搬送	H24.6.28	大磯町消防署	プロジェクター スクリーン	一 式	研修会	H24.11.11	親子のコミュニケ ーション NLPの会
プロジェクター スクリーン	一 式	研修会	H24.7.13 ～ 7.14	大磯ガイドボラ ンティア協会	折りたたみ椅子	40	演奏会	H24.11.29 ～ 12.5	神奈川県立 大磯城山公園
公用車	1	消防操法大会 職員送迎	H24.7.21 ～ 7.24	大磯町政策課	公用車	1	多数傷病者対応 訓練器材搬送	H24.12.1 ～ 12.2	大磯町消防署
プロジェクター スクリーン	一 式	講座	H24.8.10	大磯町 生涯学習課	公用車	1	出初式物品 搬送	H25.1.4 ～ 1.6	大磯町消防署
プロジェクター スクリーン	一 式	研修会	H24.9.20 ～ 9.21	大磯ガイドボラ ンティア協会	プロジェクター スクリーン	一 式	研修会	H25.3.10	大磯ガイドボラ ンティア協会

<寄贈受入図書>

出版地	寄贈者	書名	発行日
大磯町	NPO法人大きなおうち	御船まつり：高来神社夏大祭	[2012]
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	ちがさきの関東大震災：市民の記憶 文化資料館調査研究報告 21	2012/3 2012/3
藤沢市	藤沢市文書館	「ふじさわの震災」展示資料一覧：文書館所蔵資料展 ある兵士の軍隊日記 下 関東大震災と藤沢 上 都市化と市民の現代史 藤沢市史研究 第44号抜刷（訂正版） 藤沢市史研究 第45号 藤沢市文書館紀要 32 藤沢地域の教育力を探る：教育の歴史を通して	2012/1 2011/3 2012/3 2011/3 [2012] 2012/3 2010/3 2012/3
	日本大学生物資源科学部 博物館	博物館報 21号	2012/6
平塚市	神奈川県環境科学 センター 平塚市教育委員会	県・市町村の環境学習事業の取り組み状況：平成23年度実施状況と 平成24年度実施予定 構之内遺跡発掘調査報告書：第5地点A地区 山王B遺跡 第5・6地点 塚越古墳：平成19・21年度塚越古墳保存目的調査報告 平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 10 (55A・B、56、59A・B、 60A-C、61A-D、62、63区) 第1分冊 (55A・56区)	[2012/5] 2010/3 2012/3 2012/3 2013/3
	平塚市真田・北金目遺跡 調査会	平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 10 (55A・B、56、59A・B、 60A-C、61A-D、62、63区) 第2分冊 (55B、59A区) 平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 10 (55A・B、56、59A・B、 60A-C、61A-D、62、63区) 第3分冊 (59A・B、61A-D区)	2013/3 2013/3
	平塚市真田・北金目遺跡 調査会	平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 10 (55A・B、56、59A・B、 60A-C、61A-D、62、63区) 第4分冊 (60A-C、62、63区、まとめ、 付編ほか)	2013/3
	平塚市博物館	平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 10 (55A・B、56、59A・B、 60A-C、61A-D、62、63区) 第5分冊 (遺構・遺物写真) くらしの今昔：電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち 平成二十四年度秋期特別展 レンズが見たひらつか：あの日、あの場所、あのくらし 市制80周年記念夏期特別展図録	2013/3 2012/1 2012/7
		炎の証言 第14号 自然と文化：平塚市博物館研究報告 34 (2011) 自然と文化：平塚市博物館研究報告 35 (2012) 昭和の百姓記ひらつか 前編 (戦前・戦中時代の語り種) 昭和の百姓記ひらつか 中編 (昭和20年代の語り種) 平塚と相模の城館：平成23年度春期特別展 平塚の石仏 7 (岡崎地区編) 平塚市史 9 (通史編 古代・中世・近世) 平塚市博物館所蔵歴史資料目録 8 (神奈川県立平塚江南高等学校旧蔵資料) 平塚市博物館年報 34 (2010)	2011/11 2011/3 2012/3 2010/9 2012/4 2012/3 2009/10 1990/3 2012/9 2011/3
寒川町	寒川町教育委員会	寒川の文化財 平成22年度試掘調査：平成22年度町内遺跡発掘調査報告書	2002/3 2013/3
	寒川文書館	寒川町史研究 第24号 寒川町史研究 第25号 寒川町史調査報告書 18 (寒川町長の所信表明と施政方針 1) 寒川文書館年報 第5号 (平成23年度)	2012/3 2012/3 2012/1 2012/9
小田原市	小田原市郷土文化館	井上三綱：入生田のアトリエから：受贈記念特別展 小田原市郷土文化館研究報告 No. 48	2012/8 2012/3
	小田原城天守閣 神奈川県立生命の星 ・地球博物館	戦国最大の城郭小田原城：平成24年度小田原城天守閣特別展 神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第17号 (2011年度)	2012/1 2012/10
	文の会古文書グループ	根府川開所日記書抜	2013/3
箱根町	箱根町立郷土資料館	まつりの風景 2 (箱根の年中行事・初夏から歳末まで) 箱根町立郷土資料館報 第28号	2012/9 2012/2
中井町	江戸民具街道	絵で見る江戸の道具たち = Amusement and Observations at Fantasy of Karakuri Exhibit	2011/11
山北町	山北町教育委員会	足柄乃文化 第39号	2012/3

出版地	寄贈者	書名	発行日
横浜市	アーク・フィールドワークシステム	桜畑遺跡第10地点	2013/3
	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館年報 平成23年度 神奈川県歴史資料所在目録 第29集	2012/7 2012/3
	盤古堂考古史料展示室	黄金塚古墳群第1地点 小船永福遺跡第1地点 上ノ山遺跡御茶屋通遺跡第3地点 当麻亀ノ甲遺跡第2地点発掘調査報告書 尾尻尾崎遺跡：2008-01地点：神奈川県秦野市 武蔵国府関連遺跡発掘調査報告 仏向遺跡	2012/3 2012/3 2012/3 2012/3 2011/12 2011/6 2012/3
	五川文化財研究所	王禪寺口横穴墓群 恩名登山遺跡第3地点発掘調査報告書 下ノ原遺跡第4地点 港北区no.20遺跡発掘調査報告書 子母口樋之台遺跡第6地点発掘調査報告書 上萩野堀米遺跡発掘調査報告書 上郷町石原やぐら 真田・北金目遺跡群大久保遺跡第3地点発掘調査 生田長者六横穴墓群第5次調査発掘調査報告書 東大竹・市場遺跡第9地点発掘調査報告書 藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業区域内遺跡群発掘調査報告書 煤ヶ谷二天王遺跡 運乗院北遺跡発掘調査報告書	2013/3 2012/7 2013/3 2011/12 2010/12 2010/9 2013/3 2009/7 2010/12 2012/5 2012/1 2013/3 2011/8
	神奈川大学 日本常民文化研究所	民具マンスリー 45巻 12号	2013/3
	横浜みなと博物館	横浜港と生糸貿易：企画展 横浜港を彩った客船 = Port of Yokohama：企画展：横浜開港150周年 日本の客船ポスター：帆船日本丸公開10周年記念：近代日本海運小史：平成7年度特別展 魅惑の日本の客船ポスター = Fascinating Japanese passenger liner posters：企画展	2012/2 2004/10 1995/10 2012/10
	神奈川県立図書館	郷土神奈川 第51号	2013/2
	JICA横浜 海外移住資料館	JICA横浜海外移住資料館年報 平成23年度 JICA横浜海外移住資料館研究紀要 6（平成23年度）	2012/6 2012/3
	横浜都市発展記念館	横浜の海七面相 横浜都市発展記念館紀要 第8号	2012/4 2012/3
	神奈川近代文学館	神奈川近代文学館年報 2011年（平成23年）度 島崎藤村展：生誕140年記念	2012/7 2012/10
	神奈川県教育委員会	わたしたちの神奈川県 小学校社会科参考図書 平成24年版 かながわの民俗芸能 第76号 郷土史かながわ「鎌倉の文化財を訪ねよう」「たどってみよう（フィールドワーク例）」	2012/6 2012/3 [2013]
	神奈川県博物館協会 神奈川県立歴史博物館	図書館や博物館などの生涯学習拠点としての可能性について考える：「知の循環」による神奈川の生涯学習のあり方 神奈川県博物館協会会報 第83号 ペリーの顔・貌（かお）・カオ：「黒船」の使者の虚像と実像：特別展 ヨコハマ・ヨコスカストーリー：二つの港町の戦後文化：特別展 ヨコハマ・ヨコスカストーリー：二つの港町の戦後文化：特別展 出品目録 観光地鎌倉と鎌倉影：近代鎌倉のガイドブック：特別展 神奈川県立博物館研究報告 人文科学 第38号 神奈川県立博物館研究報告 人文科学 第39号 武家の古都・鎌倉：世界遺産登録推進三館連携特別展	[2012] 2012/3 2012/7 2012/4 2012/4 2013/2 2012/3 2013/3 2012/10
	馬の博物館	くらべ馬展 = Ancient horse races：特別展：近代競馬150周年記 スーホの白い馬と草原の民：企画展	2012/4 2012/10
	横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館紀要 第16号 横浜市歴史博物館資料目録 第20集 横浜市歴史博物館調査研究報告 第8号 火の神生命の神：古代のカマド信仰をさぐる 海にこぎ出せ！弥生人：横浜市歴史博物館企画展 相模国鎌倉郡鍛冶ヶ谷村と小岩井家：横浜市歴史博物館収蔵資料展	2013/3 2013/3 2013/3 2012/1 2012/4 2012/6

出版地	寄贈者	書名	発行日
		大倉精神文化研究所内遺跡出土資料報告書	2012/4
横浜市歴史博物館		東海道保土ヶ谷宿：横浜市歴史博物館企画展	2011/10
		東海道保土ヶ谷宿資料集	2011/10
		風景を伝える。持ち帰る：絵はがきあれこれ	2011/7
かながわ考古学財団		かながわの考古学：研究紀要 17	2013/3
		考えよう！旧石器人のライフスタイル：人とモノの移動から探る旧石器時代の生活：発表要旨：平成24（2012）年度東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業公開セミナー	2013/2
		子易・大坪遺跡、子易・町屋裏遺跡	2013/3
		小保戸遺跡 第1分冊	2013/3
		小保戸遺跡 第2分冊	2013/3
		上粕屋・香々久保遺跡、上粕屋・一ノ郷上遺跡	2013/3
		大保戸遺跡	2013/3
		東富岡・西之窪遺跡、東富岡・南三間遺跡、東富岡・北三間遺跡第2地点	2013/3
		当麻遺跡第1地点	2013/2
		葉山島中平遺跡	2012/12
神奈川県埋蔵文化財センター		神奈川県埋蔵文化財調査報告 57	2012/3
横浜植物会		横浜植物会年報 第41号	2012/5
川崎市	川崎市立日本民家園	旧山下家住宅 旧太田家住宅	2013/1 2012/7
	川崎市市民ミュージアム	川崎市市民ミュージアム紀要 第24集	2012/3
		川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 民俗資料 第4集	2012/3
鎌倉市	鎌倉市教育委員会	鎌倉の埋蔵文化財 = Buried cultural properties in Kamakura : 平成22年度発掘調査の概要 15	2012/3
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 28 第1分冊	2012/3
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 28 第2分冊	2012/3
	鎌倉文化研究会	鎌倉 113号	2012/7
		鎌倉 114号	2013/3
	斉藤建設	鎌倉城 (no. 87) 発掘調査報告書：御成町39番36地点	2013/3
		鎌倉城 (no. 87) 発掘調査報告書：御成町39番36地点 第2次調査	2007/9
		今小路西遺跡 (no. 201) 発掘調査報告書：御成町171番1外地点	2008/3
		若宮大路周辺遺跡群 (no. 242) 発掘調査報告書：小町二丁目4番1地点	2006/8
		若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書：御成町788番3外地点	1998/8
		若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書：御成町819番1地点	1999/5
		若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書：小町2丁目12番15地点	1998/8
		若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書：扇ヶ谷1丁目74番8・10地点	1999/5
		石川矢向 (no. 263) 遺跡	2012/6
		村岡十二天遺跡発掘調査報告書：村岡十二天西 (no. 52) 遺跡第1次調査：	
		村岡十二天東 (no. 30) 遺跡第2次調査	2012/4
		長谷小路周辺遺跡 (no. 236) 発掘調査報告書：長谷三丁目633-2の一部他7筆地点	2007/9
横須賀市	横須賀市教育委員会	乗越遺跡：相模国分寺創建期瓦生産窯跡の発掘調査報告	2012/3
	横須賀市自然・人文博物館	横須賀市博物館研究報告 自然科学 第59号	2012/3
		横須賀市博物館研究報告 人文科学 第56号	2011/12
		横須賀市博物館資料集 第36号	2012/2
		横須賀市博物館報 No. 58	2012/1
		横須賀市博物館報 No. 59	2012/8
		干潟の生き物：横須賀市自然・人文博物館平成23年度特別展示「三浦半島の干潟」	2012/1
	横須賀美術館	横須賀美術館年報 平成23年度 (2011. 4. 1-2012. 3. 31)	2012/9
		横須賀美術館年報 別冊教育普及事業編 平成23年度	2012/9
逗子市	逗子市教育委員会	国指定史跡長柄桜山古墳群整備基本計画書	2011/3
		国指定史跡長柄桜山古墳群第1号墳発掘調査報告書	2012/3
		史跡名越切通	2012/3
		神奈川県逗子市埋蔵文化財緊急調査報告書 8 (平成22年度)	2012/3
三浦市	三浦市教育委員会	遺跡試掘調査 平成21年度	2012/3
葉山町	葉山しおさい博物館	潮騒だより No. 23	2012/3
厚木市	厚木市教育委員会	あつぎ 緑起書の世界：神さままさまのプロフィール：第15回特別展示	2012/11

出版地	寄贈者	書名	発行日
	国際文化財株式会社	石田・細屋遺跡 第6地点	2012/2
	県史談会	県史談 第51号	2012/1
綾瀬市	綾瀬市教育委員会 生涯学習部	伊勢山遺跡：第1次・第4次調査の記録	2012/3
海老名市	ブラフマン	早川城山遺跡（早川城跡）	2011/3
		鳥崎遺跡	2012/3
		国分尼寺北方遺跡 第42次調査	2012/11
		大谷坊原遺跡	2012/11
相模原市	相模原市立博物館	ふるさと津久井 第5号	2012/3
		相模原市史 考古編	2012/3
		相模原市史ノート 第9号	2012/3
		津久井町の昆虫 3	2012/3
		津久井町の植物	2012/3
		津久井町史資料目録 公文書 2	2012/3
	古文書を読む会	村に発信された幕末維新の情報：御用留	2012/11
座間市	座間市教育委員会	座間むかしむかし 第34集	2012/3
大和市	大和市教育委員会	やまと歴史マップ	2012/3
茨城県	稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷の仏像・寺院調査報告 2	2012/3
		稲敷市立歴史民俗資料館館報 第6号	2012/3
		水郷、描かれた稲敷の原風景	2012/7
		小美玉市史料館 第6号	2012/3
	小美玉市立玉里史料館	海と河と縄文人：霞ヶ浦の古環境と遺跡：上高津貝塚ふるさと歴史の	2012/3
	上高津貝塚 ふるさと 歴史の広場	広場第17回企画展	2012/3
		小松貝塚：埋蔵文化財発掘調査報告書	2012/3
		土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第17号（平成22年度）	2011/10
栃木県	小山市立博物館	思川流域の古墳：第59回企画展	2012/4
	日本窯業史研究所	愛甲宮添遺跡	2012/8
		高森・寺ノ下遺跡	2012/8
		成田諏訪協遺跡第IV地点	2012/6
群馬県	シン技術コンサル 文化財調査部	山ノ内上杉邸跡発掘調査報告書：山ノ内東管領屋敷180番1外	2012/3
	渋川市教育委員会 文化財保護課	「春の女神ヒメギフチョウ」展：渋川市赤城歴史資料館秋季企画展	2012/10
		群馬用水分第8崎遺跡・滝原遺跡・下達原遺跡E区・八幡山遺跡・ 真壁城山遺跡・晝久保遺跡・西浦遺跡・水泉寺遺跡B区	2012/3
		県指定重要無形民俗文化財「下南室太々御神楽の養蚕の舞」展	2012/8
		渋川市北橘歴史資料館夏季企画展	2012/3
		渋川市市内遺跡 5	2012/3
		渋川市文化財年報 平成22年度	2012/3
埼玉県	春日部市教育委員会	花積貝塚3次地点米島西宮遺跡1次地点米島塚山遺跡1次地点馬場遺跡5次地点 貝の内遺跡9次地点	2012/3
		権現山遺跡2次地点	2011/3
		小瀬山下北遺跡11、12、13次地点沢川戸遺跡30次地点貝の内遺跡25次地点	2011/3
		中屋舗遺跡2次地点	2011/5
	春日部市郷土資料館	古墳時代の折り：内牧塚内古墳群と武蔵・下総の埴輪	[2012]
		夏季展示（第45回）	[2011]
		幕末のかすかべ：開国・攘夷・天狗党：夏季展示（第四十三回）	[2011]
	埼玉県立川の博物館	紀要 12号	2012/3
	三芳町教育委員会 生涯学習課	町内遺跡発掘調査報告書 8	2012/3
	税務大学校税務情報 センター	本村北遺跡G地点発掘調査報告書	2012/3
		酒税が国を支えた時代：平成22年度特別展示	2012/2
千葉県	館山市立博物館	中世の安房と鎌倉：海で結ばれた信仰の道：“渚の駅”たてやまオープン 記念特別企画展	2012/3
	伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報 第13号（平成22年度）	2012/3
	国立歴史民俗博物館	楽器は語る：紀州藩主徳川治宝と君子の楽	2012/7
		行列にみる近世：武士と異国と祭礼と：企画展示	2012/1
		佐倉順天堂：近代医学の発祥地	2012/8
		都市を描く：京都と江戸：人間文化研究機構連携展示	2012/3
	市立市川自然博物館	市立市川自然博物館年報 No. 22（平成22年度）	2011/12

出版地	寄贈者	書名	発行日
		市立市川自然博物館年報 No. 23 (平成23年年度)	2013/2
		絵図から見たいちかわ：平成23年度企画展パンフレット	2012/3
		市立市川歴史博物館館報 平成22年度	2012/3
松戸市立博物館		松戸市立博物館年報 19号 (平成23年度)	2012/8
		東日本の古墳と渡来文化：海を越える人とモノ：平成24年度企画展	2012/1
千葉県立加曽利貝塚博物館		貝塚博物館紀要 第39号	2012/3
千葉県立中央博物館		千葉県立中央博物館研究報告 人文科学 第12巻2号 (通巻25)	2012/3
船橋市飛ノ台史跡公園博物館		飛ノ台史跡公園博物館紀要 第9号	2012/3
東京都	外務省外交史料館	サンフランシスコ講和への道：外務省外交史料館特別展示：展示史料解説	[2012/7]
		外交史料館報 第25号	2012/3
		外交史料館報 第26号	2012/12
		吉田茂展：没後四十年	2007/10
		常設展示史料目録	[20-]
港区教育委員会		ジョサイアコンドル = Josiah Conder	2012/3
		港区の弥生時代	2012/3
		港区埋蔵文化財調査年報 9 (平成22年度の調査他)	2011/3
港区立港郷土資料館		研究紀要 14 (平成23年度)	2012/3
		江戸の大名菩提寺：平成24年度港区立港郷土資料館特別展	2012/10
		港区指定文化財 平成23年度	[2012/3]
物流博物館		「はこぶ」引札これくしょん	2012/2
文化環境研究所		Cultivate No. 39	2012/9
		Cultivate No. 40	2013/2
		文庫研レポート 第32号	2013/2
国学院大学文学部考古学研究室		本ノ木遺跡・卯ノ木泥炭層遺跡 = Motonoki site・Unoki site：2009-2011年度発掘調査報告書	2013/3
日本ユネスコ協会連盟		世界遺産年報：the world heritage. 2013 (No. 18)	2013/1
駒澤大学禅文化歴史博物館		駒澤大学禅文化歴史博物館所蔵道教関係資料 1 (紙戯編)	2011/5
		駒澤大学禅文化歴史博物館所蔵版木資料：企画展「曹洞宗の教育と出版」図録 1 (正法眼蔵辨注)	2012/10
		駒澤大学禅文化歴史博物館年次報告書 平成22年度	2011/5
		駒澤大学禅文化歴史博物館年次報告書 平成23年度	2012/5
		平家物語とその時代	2012/5
		總持寺と近代禅僧：駒澤大学所蔵両山近代貫首墨蹟集：總持寺御移転百周年記念	2011/10
世田谷区教育委員会		野村貞夫と世田谷：昭和を生きた大工：平成24年度世田谷区立	2012/11
次大夫堀公園民家園		次大夫堀公園民家園企画展	
科学技術振興機構		Science window：科学するところを聞く Vol. 6 No. 2 (46)	2012/7
憲政記念館		昭和、その動乱の時代：議会政治の危機から再生へ特別展	2012/11
昭和館		昭和のくらし研究 10号	2012/3
		昭和館館報 13号 (平成23年度)	2012/10
日本学術振興会		科研費news：科学研究費補助金：grants-in-aid for scientific research. 2012 Vol. 1	[2012/7]
		科研費news：科学研究費補助金：grants-in-aid for scientific research. 2012 Vol. 2	[2012/10]
		科研費news：科学研究費補助金：grants-in-aid for scientific research. 2012 Vol. 3	[2013/1]
日本博物館協会		博物館：これからの博物館	[2012]
		博物館の原則 博物館関係者の行動規範	2012/7
日本大学通信教育部		想古 第5号	2012/6
明治大学学芸員養成課程		Museum study：Bulletin of the Course for Prospective Museum Workers, Meiji University 23 (2011年度)	[2012/4]
		Museologist：明治大学学芸員養成課程年報 27 (2011年度)	[2011/4]
多摩市文化振興財団		下落合・山王下の生活と伝承	2012/9
バルテノン多摩		街から子どもがやってきた：戦時下の多摩と学童疎開：バルテノン多摩歴史ミュージアム企画展	2013/1
		消えた寺が語るもの：多摩市の廃寺と寿徳寺の周辺：バルテノン多摩歴史ミュージアム企画展	2012/3
		蝶たち、東京にくる：企画展	2012/6

出版地	寄贈者	書名	発行日
	国立科学博物館	Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.5 No.3 (27)	2012/5
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.5 No.4 (28)	2012/7
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.5 No.5 (29)	2012/9
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.5 No.6 (30)	2012/11
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.6 No.1 (31)	2013/1
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.6 No.2 (32)	2013/3
台東区立下町風俗資料館	大田区立郷土博物館	関東大震災と復興の時代	2012/9
		懐かし 美し 貝細工 : 特別展図録	2012/12
玉川大学教育博物館	吾妻考古学研究所	玉川大学教育博物館館報 10号 2011年度	2012/8
		玉川大学教育博物館紀要 9号	2012/3
町田市立自由民権資料館	町田市立自由民権資料館	岡田西河内遺跡 写真図版編	2012/3
		岡田西河内遺跡 本文編	2012/3
		朝比奈町やぐら群 3	2013/2
		自由民権 : 町田市立自由民権資料館紀要 25	2012/3
東京家政学院 生活文化博物館	東京家政学院生活文化博物館	村野常右衛門とその時代	2012/3
		写真展あの頃、あの時 : 旧城山町にみる“三丁目の夕日” : 第24回東京家政学院生活文化博物館特別展 2	2012/7
		東京家政学院生活文化博物館年報 20号	2010/3
調布市郷土博物館	国立ハンセン病資料館	東京家政学院生活文化博物館年報 21号	2011/8
		国指定史跡下布田遺跡	2012/2
株式会社パスコ文化財センター	株式会社パスコ文化財センター	国立ハンセン病資料館常設展示図録 2012	2013/1
東京家政大学博物館	東京家政大学博物館	神成松遺跡 第2地点	2012/10
		東京家政大学博物館紀要 第16集	2011/3
板橋区教育委員会 板橋区立郷土資料館	板橋区立郷土資料館	東京家政大学博物館紀要 第17集	2012/2
		歴史民俗研究 : 櫻井徳太郎賞受賞論集 第9輯	2012/3
品川区立品川歴史館	品川歴史館	高島平蘭学事始 : 開館40周年記念 : 特別展	2012/10
		地域史シリーズいばし : 企画展	2013/2
		品川鉄道事始 : 陸蒸気が品川を走る : 鉄道開通一四〇周年記念 : 品川歴史館特別展	2012/10
府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館	江戸時代の多摩を掘る	2013/1
		府中メモリアル : 記念品から見た地域の歴史	2012/4
		府中市郷土の森博物館紀要 第26号 (2013年)	2013/3
お茶の水女子大学 学芸員課程委員会	お茶の水女子大学 学芸員課程委員会	本宿小野宮内藤治右衛門家文書目録 1	2013/3
		博物館実習報告 第27号 (2011年度)	2012/3
豊島区立郷土資料館	豊島区立郷土資料館	博物館実習報告 第28号 (2012年度)	2013/1
		生活と文化 : 研究紀要 21号 (2011)	2012/3
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館	館蔵地図目録 : 東京都江戸東京博物館資料目録 2 (明治の地図)	2012/3
		喜多川周之コレクション 第2集	2012/3
		江戸の町名主	2012/3
新人物往来社編集部 大成エンジニアリング 株式会社	新人物往来社編集部 大成エンジニアリング 株式会社	カメラが撮らえた埼玉県の昭和	2012/12
		稲荷台地遺跡群石名板遺跡 : 第7次調査	2012/3
東京日本鉄道文化財団	東京日本鉄道文化財団	百年前の修学旅行 : ハイカラさんと東京駅の時代	2012
		旧栗本宮邸 (東運 大磯洗心荘) の記録	2012/4
洋泉社	洋泉社	女たちの幕末・明治 : 新時代を逞しく駆け抜けた八重と気高き女性たちのドラマ	2013/4
北海道	北海道開拓の村	一般財団法人北海道開拓の村 年報 平成23年度	2012/6
青森県	青森県立郷土館	青森県立郷土館報 39号 (2012年度版)	2012/5
長野県	茅野市教育委員会	市内遺跡 6 : 平成22-23年度埋蔵文化財発掘調査報告書	2011/3
		茅野市八ヶ岳総合博物館	紀要 19号 (平成22年度)
諏訪市博物館	諏訪市博物館	茅野市八ヶ岳総合博物館	2012/3
		諏訪地域考古資料藤森栄一蒐集品目録	2011/11
		小本丸紅糸威調丸 : 大祝源方家伝来の名宝	2011/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	霧ヶ峰スキーことはじめ : スキー場開拓にかけた諏訪人たちの熱き思い : 諏訪市博物館諏訪市博物館特別展	2012/2
		海辺の情景 : 絵葉書に見る地先の漁場 : 沼津市歴史民俗資料館 平成24年度企画展	[2012]
焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館	沼津市博物館紀要 36	2012/3
		焼津市歴史民俗資料館年報 26 (平成23年度)	2013/3
愛知県	安城市歴史博物館	からくり人形の世界 : その歴史とメカニズム	2012/7

出版地	寄贈者	書名	発行日
		かわる安城・60年の軌跡：平成24年度ミュージアム・スポット市制60周年写真展	2012/9
		よみがえる本證寺伽藍	2012/3
		安城の新美南吉	2012/8
		安城市歴史博物館研究紀要 No. 19	2012/3
		桜井町の棒の手・馬の塔：市制60周年記念企画展	2012/11
		村絵図：平成24年度ミュージアム・スポット 3	2012/3
		年報 第21号(平成23年度)	2012/6
一宮市博物館		一宮市博物館年報 12 (平成21・22年度)	2012/3
		火事と喧嘩は江戸の華：火事装束：平成24年度企画展	2012/4
一宮市尾西歴史民俗資料館		のこぎり屋根と毛織物：一宮市制90周年記念	2012/2
		御一新と宿場：明治初期の美濃路・起宿：特別展	2012/10
		豊橋市自然史博物館年報 第24号 平成23年度	2012/6
奈良県	郡山城史跡・柳沢文庫保存会	参勤交代年表 上	1997/11
		参勤交代年表 中	1998/9
		参勤交代年表 下	1999/12
		参勤交代年表 続	2002/2
		参勤交代史料集・御例集	2004/2
三重県	鈴鹿市考古博物館	ヤマトタケルと白鳥伝説：平成23年度特別展	[2011]
		河曲の考古学：各地との交流：企画展	[20-]
		中ノ川流域の考古学：平成23年度企画展	[2012]
		発掘された鈴鹿：速報展 2011	[2012]
		発掘された鈴鹿：速報展 2012	[2013]
		鈴鹿市考古博物館年報 第13号(平成22年度版)	2011/12
		鈴鹿市考古博物館年報 第14号(平成23年度版)	2013/2
和歌山県 奈良県 大阪府	和歌山県立自然博物館 草津市教育委員会 大阪市立自然史博物館	和歌山県立自然博物館館報 第30号 草津市文化財年報 19 ナウマンゾウ：おおさかにいたゾウのはなし ハチまるごと!図鑑：第43回特別展「のぞいてみようハチの世界」解説書 自然史研究 Vol.3 No.12 31-III-2012 自然史研究 Vol.3 No.13 31-III-2012 大阪市立自然史博物館館報 37 (平成23年度) 大阪市立自然史博物館研究報告 第66号 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 = Specimen list of Coleoptera in the insect collection of the Osaka Museum of Natural History 2	2012/11 2012/3 2012/3 [2012] [2012] 2012/6 2012/3 2012/3
	富田林市教育委員会	竹筒に巣をつくるハチ 喜志遺跡 3 甲田遺跡 富田林市内遺跡群発掘調査報告書 平成23年度	2005/3 2012/3 2012/3 2012/3
兵庫県	たつの市立龍野歴史文化資料館	ひいな：人形は時を越えて 4	2013/2
		相撲資料と郷土力士北碓磨の活躍	[2012]
岡山	岡山空襲資料室	炎の記憶：1945年6月29日岡山空襲 大切なこと：1945年6月29日伝えたい岡山空襲の記憶	[出版年不明] [出版年不明]
	岡山シティミュージアム	米軍の写真偵察と日本空襲：写真偵察機が記録した日本本土と空襲被害 岡山藩の教育：企画展池田家文庫絵図展 絵図にみる中国四国地方の城下町：平成22年度池田家文庫絵図展 江戸時代の巨大手描き絵図：国絵図復元!：平成23年度池田家文庫絵図展 日本と「異国」：平成20年度企画展：池田家文庫絵図展 日本六十余州図の世界：平成24年度池田家文庫絵図展	2011/8 2009/9 2010/11 2011/10 2008/11 2012/11
広島県	熊平製作所	抜萃のつむり、その72	2013/1
鳥取県	鳥取県立公文書館	澤田康三・美喜と岩崎家、昭和天皇(1) 澤田康三・美喜と岩崎家、昭和天皇(2) 澤田康三・美喜と岩崎家、昭和天皇(3・完)	2011/5 2011/7 2011/10
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園年報 第11号 (2011)	2012/8

< 受入機関誌・広報誌 >

出版地	発行者	誌名	巻号	発行年月
大磯町	大磯ガイドボランティア協会	照ヶ崎	12, 13	2012/8, 11
	鳴立庵	鳴立庵	25	2012/12
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	ちがさきの石仏	17	2012/3
秦野市	野生動物救護の会	Runner	13-15	2012/4. 9, 12
寒川町	寒川文書館	寒川文書館だより	11, 12	2012/3, 9
小田原市	神奈川県立生命の星・地球博物館	自然科学のとびら	69-71	2012/6. 9, 12
真鶴町	真鶴町立中川一政美術館	美術館だより	20, 21	2012/3, 2013/3
山北町	神奈川県立丹沢湖ビジターセンター	丹沢湖ビジターセンターだより	24-28	2012/3. 6, 9, 12, 2013. 3
横浜	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館だより	28, 29	2012/9, 2013/3
	神奈川県自然観察指導員連絡会事務局	自然観察	368	2012/4
	岩崎博物館	岩崎ミュージアムプレス	131-136	2012/5. 6. 8. 11. 12. 2013/2
	神奈川近代文学館	神奈川近代文学館	116-119	2012/4. 7. 10, 2013/1
	神奈川県教育委員会	民俗芸能情報提供	7-9月, 4-6月	[2012/7, 2013/3]
	神奈川県博物館協会	Network	33	2012/9
	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館だより	190	2012/7
	日本新聞博物館	ニュースパークだより	67-70	2012/4. 7. 10, 2013/1
川崎市	横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館news	32, 33	2012/3, 9
	かながわ考古学財団	考古学財団発掘帖	17, 18	2012/8, 2013/1
	川崎市立日本家園	日本家園だより	77, 78	2012/7, 2013/1
	川崎市市民ミュージアム	Museum news	84	2012/6
鎌倉市	鶴岡八幡宮宝物殿	社報 鶴岡	115-116	2012/6, 2013/1
横浜賀美市	横須賀美術館	Corridart	10	2012/11
清川村	丹沢自然保護協会	丹沢だより	495-505	2012/4-2013/3
厚木市	厚木市教育委員会	厚木市史たより	4, 5	2012/1. 4
栃木県	小山市立博物館	小山市立博物館博物館だより	54	2012/3
埼玉県	埼玉県立川の博物館	かわはく	42-44	2011/11, 2012/3, 7
千葉県	館山市立博物館	ミュージアム発見伝	86	2012/3
	市立市川自然博物館	市立いわかわ自然博物館だより	133-144	2011/4-2012/12
東京都	物流博物館	物流博物館NEWS	12	2012/3
	港区立港郷土資料館	港郷土資料館だより	69	2012/3
	港区立港郷土資料館	港区立港郷土資料館へ行ってみよう!	9	2012/3
	靖国神社遊就館	靖国	681-692	2012/4-2013/3
	多摩市文化振興財団	バルテノン多摩 MUSEUM NEWS	21, 22	2012/6. 11
	台東区立下町風俗資料館	下町風俗資料館號外	3/20	2013/3
	玉川大学教育博物館	博物館ニュース Shu	38, 39	2012/3, 9
	東京家政大学博物館	館報	57, 58	2012/5. 10
	府中市郷土の森博物館	あるむせお	100-103	2012/6. 9, 12, 2013/3
	お礼と切手の博物館	お礼と切手の博物館ニュース	30-31	2012/7. 12
	豊島区立郷土資料館	かたりべ	102-105	2011/6. 10, 2012/1. 3
	東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館news	77, 79	2012/3, 9
	学習院大学学芸員資格取得事務室	学芸員	16	2012/10
	調布市郷土博物館	郷土博物館だより	72-74	2009/3, 2012/7. 12
	調布市郷土博物館	調布の文化財	43-48	2009/3, 2010/3, 2012/1. 3, 12
岩手県	牛の博物館	牛のはくぶつかん	39	2012/7
山梨県	環境庁自然保護局生物多様性センター	生物多様性センターニューズレター	32	2012/7
長野県	茅野市八ヶ岳総合博物館	八ヶ岳通信	29, 30	2011/3, 2012/3
岐阜県	藤村記念館	藤村記念館だより	133, 134	2012/10, 2013/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館だより	193-195	2012/3. 6. 9, 12
	静岡県立美術館	アマリス	106-108	2012/7. 10, 2013/1
愛知県	安城市歴史博物館	博物館ニュース	85-87	2012/7. 10, 2013/1
	豊橋市美術博物館	風伯：豊橋市美術博物館友の会会報	82-84	2012/3. 10, 2013/2
	豊津宿街道交流館	街道文化通信	21-26	2010/12-2013/3
和歌山県	和歌山県立自然博物館	自然博物館だより	Vol. 30 No. 1-4	2012/3. 6. 9, 12
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園だより	50-53	2012/6. 9, 12, 2013/3
沖縄県	海洋博覧会記念公園管理財団	南ぬ風	23-25	2012/4. 7, 9

研究報告

講座『みんなで町の自然を調べよう～秋の七草の分布しらべ～』及び学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋』の実施報告

* 北水 慶一

1. はじめに

大磯町郷土資料館では、前年度、前々年度に引き続き教育普及活動事業と企画展事業を連動させた企画を実施した。教育普及活動事業に位置づける植物の分布調査と企画展事業とを組み合わせた企画である。これまでに春、夏と四季の順に植物調査を進めてきており、本企画では秋の植物を対象とした。企画の進め方は、春、夏の植物調査の企画と同様に調査と展示とをセットとして進め、企画展会期中にも調査を行ない、その都度、調査の結果を展示に反映させるやり方で進めた。本稿では企画の進行を紹介するとともに一連の調査の結果を紹介する。

2. 講座『みんなで町の自然を調べよう～秋の七草の分布しらべ～』の実施

2-1. 調査方法

1) 調査員

調査員は植物調査に慣れている方、不慣れな方を問わず、町広報で募集し、参加者を募った。呼びかけに対して大磯町及び近隣市町在住の 26 人の方々にご応募いただいた。

2) 調査期間

調査期間は 1 年間で 24 の時期に分ける二十四節気をもとに、立秋（8月7日）から立冬の前日（11月6日）までを調査期間とした。

3) 調査対象の植物

調査対象の植物は調査参加者との話し合いのもと、15 種類程度に絞り込むことにした。秋の植物として、一般的によく知られる「秋の七草」、瘦果がくつき虫として知られる「キク科 センダングサ属の植物」の 2 つのグループを最初に候補とした。「秋の七草」は萩（はぎ）、薄（すすき）、桔梗（ききょう）、撫子（なでしこ）、葛（くず）、藤袴（ふじばかま）、女郎花（おみなえし）の 7 種類であるが、このうち萩、撫子はそれぞれの属の総称であるため、ハギ属からマルバハギ、ナデシコ属からカワラナデシコを選び、調査対象にすることにした。

「キク科 センダングサ属の植物」について、大磯町ではアメリカセンダングサ、センダングサ、コセンダングサ、コシロノセンダングサの他、コセンダングサとコシロノセンダングサの雑種であるアイノコセンダングサが確認されている。調査対象植物の選定の話し合いにおいて、アイノコセンダングサは



図1 調査の様子

コセンダングサと見分けづらいものがあり、コセンダングサに含めた方がよいのではと意見が出た。協議を進める中、多くの方々はその意見に賛同されたため、アイノコセンダングサをコセンダングサに含めることにした。このため「キク科 センダングサ属の植物」についてはアメリカセンダングサ、コセンダングサ（アイノコセンダングサを含む）、コシロノセンダングサ、センダングサの 4 種類を対象とした。

続いて、「秋の七草」、「キク科 センダングサ属の植物」以外の調査対象植物について意見交換をした。最初に調査参加者の皆さんに意見を出していただき、オオブタクサ、ブタクサ、セイタカアワダチソウ、エノコログサ、イシミカワ、イヌタデ、ママコシリスグイ、ツリガネニンジン、センニンソウ、イヌホオズキ、ワルナスビ、ヒガンバナ、カラスウリ、ヒヨドリバナ、サクラタデの計 15 種類が候補としてあがった。種類の絞込みをする中で、調査の意義について意見が及び帰化植物を中心に選出する方向へと傾きかけたが、最終的に散策最中、見かけて印象のよい植物を選出することでまとめ、イヌタデ、カラスウリ、サクラタデ、センニンソウ、ツリガネニンジン、ヒガンバナ、ヒヨドリバナの 7 種類を対象とすることにした。

4) 調査方法

調査は合同調査、個別調査の 2 種類の方法で実施した。

合同調査は種の見分け方や確認できそうな環境等の情報交換を目的に調査期間中に 4 回行った。運動公園や大磯駅等参加者が集まりやすい場所に集合し、巡回後また同じ場所で解散できるようにコースを組んだ。個別調査では大磯町を 17 の区域に分け、それぞれの区域に担当者をあてて、都合のよい時に巡回できるようにした。本調査で巡回したコースは図 2 に示すとおりである。

（※ 当館学芸員）

2-2. 調査の結果

それぞれの調査の結果は、図3から図18のとおりである。地図上に確認したポイントを赤い丸印で示している。実際の調査では確認した場所で株数を数え、10株以上と10株未満の場所では表記の仕方を変えたが、本稿の図では、特に区別をせず、確認したポイントのみを紹介している。

1) 秋の七草の分布

カワラナデシコ、キキョウを除いて5種類を確認することができた。マルバハギは丘陵地の道路沿いで確認することができた。ススキ、クズは丘陵地の道路脇や河川沿いで非常によく見られた。フジバカマは植栽していたものが逸出したものではないかと考えられる。オミナエシは1990年に当館主催行事「大磯町・二宮町の身近な生き物調査」の対象生物として分布状況を調べたが、その時は本町では全く確認できなかった。今回の調査では3箇所記録されたがフジバカマと同様に植栽していたものが逸出したものではないかと考えられる。近年、本町では野生のものは全く確認できない状況である。

2) キク科 センダングサ属の植物の分布

センダングサを除いていずれも丘陵地を中心に確認することができた。コセンダングサが最も多く、続いてコシロノセンダングサとアメリカセンダングサが多かった。今回の調査ではアイノコセンダングサをコセンダングサに含めて記録を取った。調査をおおして感じたことであるが、コセンダングサとアイノコセンダングサとで確認株数を比較した場合、

おそらくアイノコセンダングサが多いのではないかなと思われる。次回、調査する際は、コセンダングサとアイノコセンダングサとを分けて調査を進めていきたい。また、センダングサについては、当館主催のワークショップ「草と木の調査～秋の植物分布調査～」で1999年、2000年に調べた時は全く確認できなかったが、今回は確認することができた。引き続き今後の推移を観察していきたい。

3) 調査会で選んだ秋の草花の分布

7種類ともに確認することができた。

特にイヌタデ、カラスウリ、ヒガンバナは非常に多かった。イヌタデは町内の空き地や畑で多数確認できた。カラスウリは夜間に開花が見られるので、調査を行なった日中はつぼみ、もしくは花がしぼんだ状態であったが、丘陵地の道路沿いでは、連続して見られた。ヒガンバナは田畑の他、市街地でもよく確認できた。近年、本町では白花のシロバナマンジュシャゲがよく見られるようになっている。今回の調査ではヒガンバナにシロバナマンジュシャゲを含めていないが、今後、増えていく傾向がみられるようなら、分布の状況を記録していく必要があると思われる。

サクラタデについては、調査当初は谷戸に普通に見られるのではないかと考えていた。しかしながら、そのほとんどはシロバナサクラタデであった。本町全域を巡回し、唯一、生沢の2箇所を確認することができた。このことは貴重な情報として記録しておきたい。

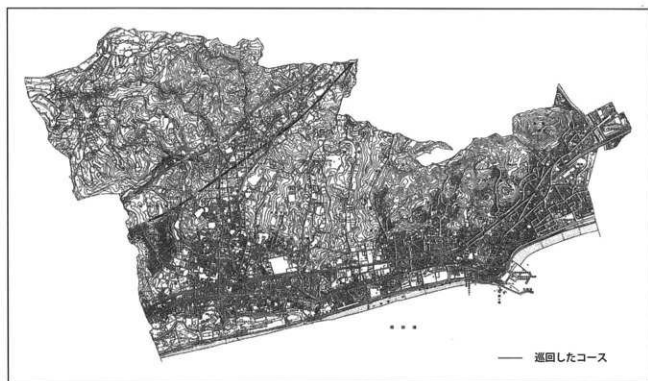


図2 巡回したコース

大磯町1995年発行「大磯町全図(1万分の1)」の地図を縮小して使用

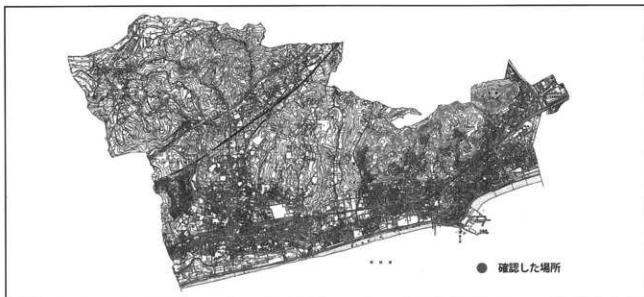


図3 マルバハギの分布

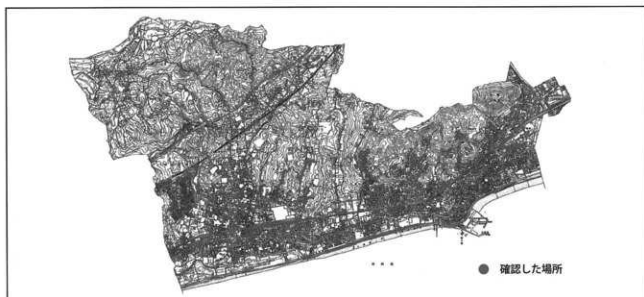


図4 ススキの分布

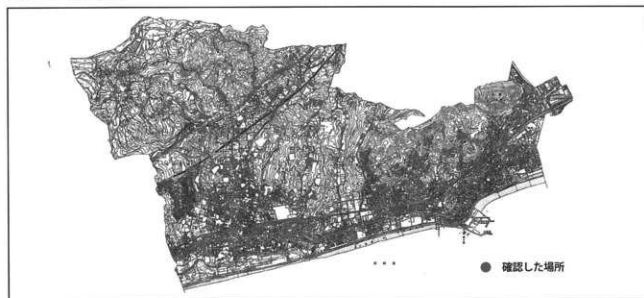


図5 クズの分布

※ 32～36ページの地図は、いずれも大磯町1995年発行「大磯町全図（1万分の1）」の地図を縮小して使用

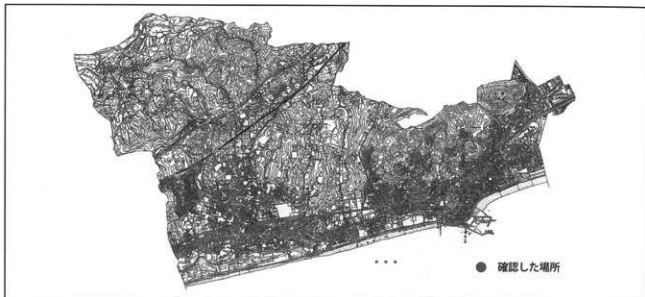


図6 フジバカマの分布

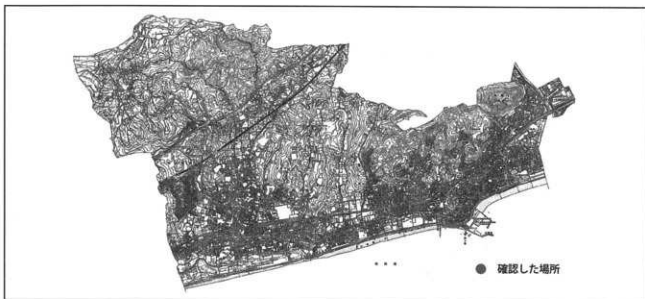


図7 オミナエシの分布

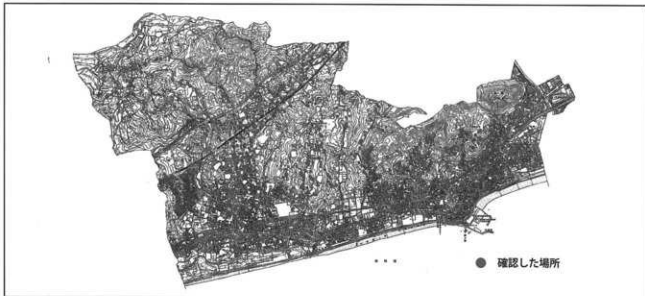


図8 イスタデの分布

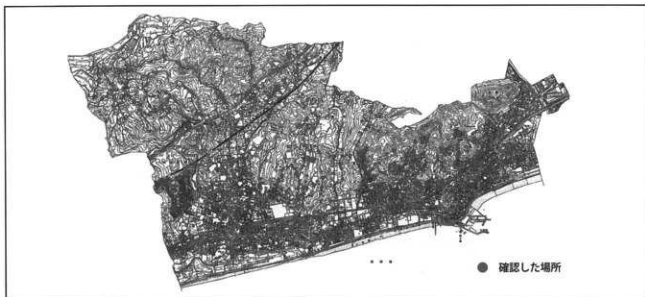


図9 カラスウリの分布

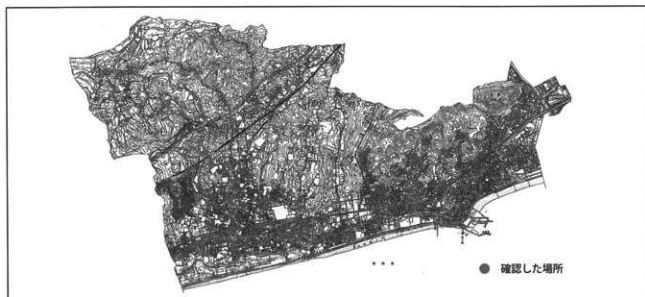


図10 サクラタケの分布

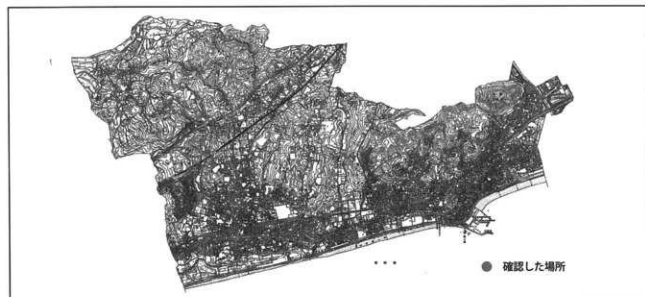


図11 センニンソウの分布

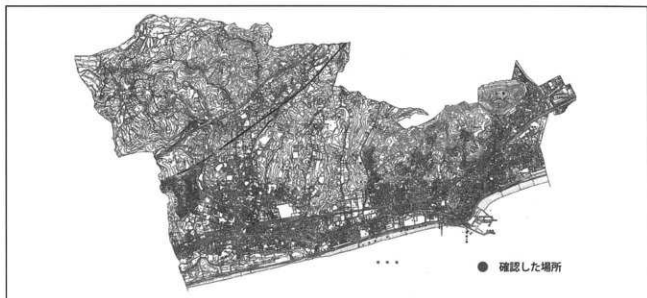


図 12 ツリガネニンジン分布

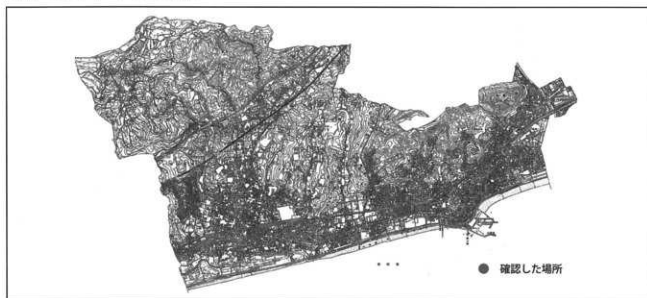


図 13 ヒガンバナ分布



図 14 ヒヨドリバナ分布

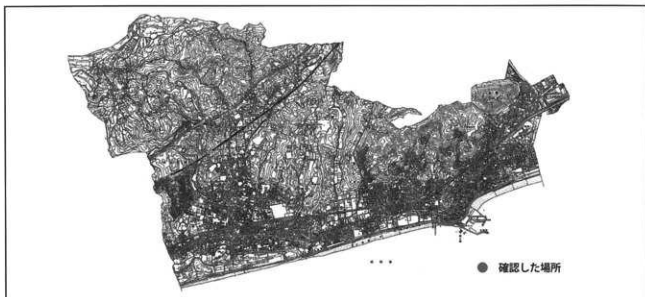


図 15 アメリカセンダングサの分布

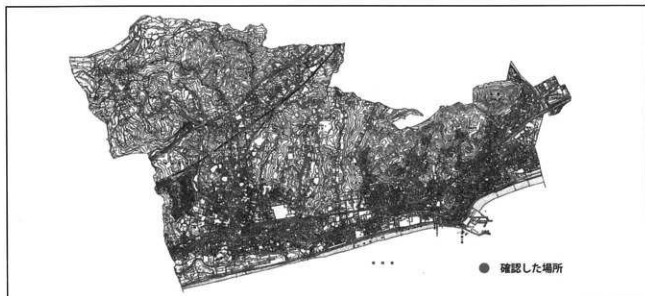


図 16 コセンダングサ (アイノコセンダングサを含む) の分布



図 17 コシロセンダングサの分布



図 18 センダングサの分布

表1 展示した秋の花の写真リスト

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
1	アツバキミガヨラン	10月14日	虫窪		37	チャ	9月29日	西久保	
2	アメリカセンダングサ	9月29日	虫窪		38	ツユクサ	9月29日	虫窪	吉川 武士
3	アメリカナシカズラ	8月19日	大磯	川瀬 和江	39	ツリガネニンジン	9月22日	大磯	
4	アレチウリ	9月8日	高麗	宮原 恒雄	40	ツリフネソウ	9月29日	虫窪	
5	イシミカワ	10月6日	月京	内山 千代子	41	ツルボ	9月29日	西久保	
6	イタドリ	9月30日	高麗	宮原 恒雄	42	ツワブキ	(未詳)	大磯	安永 一夫
7	イチビ	8月29日	国府本郷		43	ナンバンギセル	9月26日	大磯	飯田 福信
8	イヌキクイモ	9月30日	高麗	宮原 恒雄	44	ナンバンハコベ	9月1日	国府本郷	内山 千代子
9	イヌホオズキ	9月30日	高麗	宮原 恒雄	45	ヌスビトハギ	8月29日	西小磯	
10	エビツル	9月29日	虫窪	宮原 恒雄	46	ノカンゾウ	9月	月京	養島 淳子
11	オオバクサフジ	(未詳)	大磯	安永 一夫	47	ノダケ	9月22日	大磯	
12	オオバタクサ	8月25日	西小磯	宮原 恒雄	48	ハナカタバミ	9月30日	高麗	宮原 恒雄
13	オシロイバナ	8月25日	国府本郷		49	ハマゴウ	10月	西小磯	養島 淳子
14	オトコエシ	9月22日	大磯		50	ヒガンバナ	9月29日	虫窪	
15	オミナエシ	(未詳)	東小磯	外川 敏子	51	ヒキオコシ	10月26日	東小磯	鈴木 昭夫
16	オモダカ	8月25日	西小磯		52	ヒヨドリジョウゴ	9月22日	大磯	保坂 匠
17	ガガイモ	8月19日	大磯	川瀬 和江	53	フジバカマ	10月27日	生沢	鈴木 昭夫
18	カゴノキ	9月27日	西小磯	内山 千代子	54	ベニバナバロギク	9月7日	西小磯	内山 千代子
19	カラスウリ	8月22日	生沢		55	ホシアサガオ	9月30日	高麗	宮原 恒雄
20	キツタ	(未詳)	大磯	安永 一夫	56	ホソバキノノゲシ	10月14日	西小磯	
21	キツネノカミソリ	8月22日	高麗		57	マツバボタン	(未詳)	東小磯	外川 敏子
22	キンコジカ	8月20日	高麗	川瀬 和江	58	ママコノシリヌグイ	9月8日	高麗	宮原 恒雄
23	クコ	9月16日	国府新宿	吉川 武士	59	マメアサガオ	9月29日	西久保	加藤 喜規
24	クサギ	8月25日	西小磯	宮原 恒雄	60	マルバハギ	9月29日	虫窪	
25	クサノオウ	9月29日	虫窪		61	マルバフジバカマ	9月29日	虫窪	
26	クズ	9月16日	国府新宿	吉川 武士	62	マルバルコウ	9月29日	虫窪	宮原 恒雄
27	ゲンノショウコ	9月29日	虫窪	宮原 恒雄	63	ムラサキツメクサ	9月30日	高麗	宮原 恒雄
28	コシノセンダングサ	10月14日	西小磯		64	ヤクシソウ	(未詳)	大磯	安永 一夫
29	ジュズダマ	8月25日	西小磯	宮原 恒雄	65	ヤブカラシ	9月8日	高麗	宮原 恒雄
30	シロバナマンジュシナゲ	(未詳)	大磯	安永 一夫	66	ヤブタマコ	9月29日	高麗	宮原 恒雄
31	ススキ	9月27日	国府新宿	吉川 武士	67	ヤブマメ	(未詳)	大磯	安永 一夫
32	セイトクワダツク	(未詳)	大磯	安永 一夫	68	ヤマノイモ	8月29日	西小磯	
33	センダングサ	9月26日	東小磯		69	ヨウシュヤマゴボウ	8月29日	西小磯	
34	センニンソウ	8月25日	国府本郷		70	ヨモギ	(未詳)	大磯	安永 一夫
35	タイワンホトトギス	(未詳)	大磯	安永 一夫	71	ラセイトソウ	10月	虫窪	養島 淳子
36	チカラシバ	9月30日	高麗	宮原 恒雄					

表2 展示した果実の写真リスト

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
1	イチビ	10月3日	月京	内山 千代子	7	センニンソウ	9月29日	虫窪	保坂 匠
2	イヌマキ	10月16日	月京	内山 千代子	8	トベラ	(未詳)	大磯	安永 一夫
3	オニグルミ	9月8日	高麗	宮原 恒雄	9	ナンバンハコベ	9月30日	国府本郷	内山 千代子
4	カシワ	9月26日	国府新宿	内山 千代子	10	ノブドウ	9月30日	高麗	宮原 恒雄
5	カラスウリ	10月14日	西小磯		11	ハマゴウ	10月	西小磯	養島 淳子
6	クコ	10月3日	月京	内山 千代子	12	ヨウシュヤマゴボウ	9月30日	高麗	宮原 恒雄

「撮影者」欄の未記載のものは、展示担当の北水 慶一が撮影したもの

3. 学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋』の開催

調査は11月6日までであったが、調査が完了する17日前の10月20日から学習参考資料展を開催した。学習参考資料展という展示名称にしたのは、小学校理科「生きものくらし(3)秋の自然」、中学校理科の「植物の世界」の学習に合わせた展示内容にしたことによる。

展示の準備は、調査に参加された方々にもご協力いただいた。10月13日、10月16日、10月17日の3日間で、調査結果の集計として、種類ごとに地図の確認地点に丸いシールを貼る作業を行なった。

展示の構成は、「秋の七草の分布」、「キク科 センダングサ属の植物の分布」、「調査会で選んだ秋の草花の分布」という項目別にあげた植物の分布状況を地図で紹介するとともに調査期間に確認した秋の花、果実の写真を紹介するものであった。秋の花、果実の写真の展示とは、立秋(8月7日)から立冬の前日(11月6日)までの期間に大磯町内で撮影された花、果実の写真を展示するものであり、調査に参加された方はもちろんのこと、チラシや展示を見られた一般の方からもご提供いただいた。最終的に当館職員を含めて12人の方々からご提供いただいた。会期中に徐々に手を加え、学習参考資料展初日の写真の展示枚数は56枚であったが、最終的に71枚となった。展示した写真の一覧を表1、2で紹介する。

4. まとめ

昨年度、一昨年度に春の植物、夏の植物の分布調査を実施し、要領を得た中で、秋の植物の分布調査を行なった。調査員のメンバー構成は大きく変わることはなく、これまでと同じ担当地域を受け持っていた。

ガイドンズでは対象とする植物の選定について、活発な意見交換が展開され、調査参加者の多くが本町のどこに特徴的な植物が見られるかよくご存知であることを理解するとともに、各々がイメージする秋の植物の種類について若干の違いがあることが分かった。調査者が事前に植物の分布情報を得ていたことで効率的に調査を進められたのではないかと思った。

調査においては、センダングサ属の植物の同定に関する知識の習得が課題であり、アイノコセンダングサとコセンダングサをはっきりと見分ける必要があると感じられた。反面、以前に当館の主催行事として実施した秋の植物の分布調査で確認できなかったセンダングサとオミナエシが今回の調査で確認できたことは大きな成果であったと考えている。センダングサ、オミナエシについては今後の株数の推移を追ってきたい。



図19 展示風景

また、展示企画においては、前回、前々回ともに実物の資料が少ないことが課題であった。今回の展示では果実の実物を展示して、資料が写真パネルだけにならないように配慮した。こうしたことで変化のある展示に結びつけることができたのではないかと考えている。

春、夏の植物調査を含めていえることだが、参加していただいている方々のご尽力により町内全域を網羅した調査ができています。参加された方々のご理解なくしては調査、展示ともに充実したものができなかったと思われる。最後に調査及び展示準備にご協力いただいた方々の名前を記して、感謝申し上げます。

鶴飼レイ子・内山千代子・大久保恵美子・大久保武・小野恵子・加藤喜規・川原一恵・菊池なつみ・小山由雄・鈴木昭夫・外川敏子・中村ふぢ・畠山恵子・曳野義子・平島靖士・布施鈴子・保坂匠・松島まり子・箕島淳子・宮川紀子・宮原恒雄・村上敦子・村田愈子・柳田利幸・柳田道雄・吉川武士 (敬称略)

5. 参考文献

- 神奈川県植物誌調査会編(2001)『神奈川県植物誌2001』神奈川県立生命の星・地球博物館
- 北水慶一(2013)『講座『みんなで町の自然を調べよう～夏の七草の分布しらべ～』および学習参考資料展『みんなで調べた今夏の大磯町の花』の実施報告』『大磯町郷土資料館年報—平成23年度—』大磯町郷土資料館
- 自然環境保全センター(2002)『第6回 緑の国勢調査 身近な生きもの調査 2000-2001 身近な林調査結果』環境省自然環境局生物多様性センター図鑑』講談社
- 高橋秀男監修(2000)『山野草ガイドブック』永岡書店
- 林弥栄ほか監修(2003)『野草 見分けのポイント図鑑』講談社

大磯町国府本郷地区山口家の御札資料からみる信仰範囲

* 保坂 匠

1. はじめに

大磯町郷土資料館では大磯町内2家から寄贈された御札資料を収蔵している。

御札とは、神霊またはその超自然力を示す象徴物及びそれを記したものであり、神棚や住居内外に納めるもしくは貼られる木や紙の札である。一年間祀ると効力を失うとして、ドンドヤキにおいて焼き上げるか、寺社へ納めるのが一般的である。郷土資料館に寄贈された2家の資料は、焼き上げられるはずの御札を何らかの理由で残しておいたものである。御札を残しておく事例は全国的に散見される。千枚溜まると火伏せになるなどとして千枚札と呼ばれる。もしくは俵に入れられていることがあるため俵札とも呼ばれている（以後千枚札と呼称する）。千枚札は、江戸末期（兵庫の事例のみ江戸前期）から昭和初期までの御札であることと全国の寺社の御札がみられることが主な特徴である。しかし、神棚に祀る氏神の御札や天照皇大神の御札は、残している家と残さない家があり、家によって残しておく御札を選択していたことが指摘されている。点数は数十枚から数千枚と開きがあり、保存方法も箱に入れる、俵に詰める、梁にくくりつけるなど様々である。

このような千枚札は、江戸期から昭和初期にかけ

ての信仰を示す資料として、研究者や自治体により整理され報告書や論文が出されている。そこでは千枚札を整理し分類することで、信仰範囲や神職として御札を頒布していた御師の活動などが分析されている。特に御札の受容方法からみる受容圏と発行地域(寺社)からみる信仰範囲の2つの分類が主に行なわれている。

受容圏については、時枝務氏が「守札と信仰——農家における守札の存在形態——」の中で4つの型を設定している。1型、氏神、檀那寺から受ける場合、2型、直接受けてきた場合、3型、遠方寺社への土産、4型、神職を通して毎年定期的にもたらされる場合である。時枝自身が述べている通り、いくつかの型に該当する御札もあることから、明確に分類することが出来ないことが問題である。

信仰範囲については、市町村単位や当家との距離からその範囲を設定している。例えば、『宮代町史資料 第九集 祈りの札』では、守札の分布として①、同市町村内、②、同県内、③、同地方(関東など)、④、その他の地方、以上4つに分類している。信仰や交流の広がりを見るためには十分有用な分類方法であると考えられる。

当館が収蔵している2家の御札資料も千枚札と考えられる。2家の御札資料を分類することで、かつて大磯町内で存在していた信仰やその範囲、御師の活動を考えてみたい。本稿では、まず山口家の御札資料から、国府本郷地区の一家の信仰範囲を示すものである。

本稿では受容圏の分

類を試みるには資料不足であるため、信仰範囲の分類を試みるものである。しかし、前述の分類を大磯町の御札資料にそのまま適用することはできない。なぜなら「③、同地方」を関東地域としてしまうと、大磯町は関東の西の端にあたり関東他県よりも静岡県の方が近いにもかかわらず、静岡県が他地域に分類される。そして、より遠方の茨城県が同地域として分類されてしまう。そのため、隣県の東京都と静岡県を「③、隣県」として分類する。

表 1 発行元寺社と点数

発行元寺社	場所	点数	祈願・内容
真勝寺	大磯町国府本郷	2	風雨順時 攘災到福 五穀成熟、御影
清生山 観音寺	大磯町生沢	7	仁王経御祈禱札
相州生沢村稲荷	大磯町生沢	1	御影
真田神社(天王宮)	平塚市	1	轉讀大般若経札
長泉寺	平塚市	1	星祭
吾妻神社	二宮町	2	祈禱札、御影
大山寺 ¹⁾	伊勢原市	19	諸人快樂五穀成就家内久伏 雨風大小守護 除雷、牛王宝印、尊勝陀羅尼読誦札、三面大黒天御影、大天狗宝印、祈禱札、石尊大権現、不動明王祈願札
一の沢浄願寺	伊勢原市	8	三千禮御札
大山御師神崎富大夫	伊勢原市	7	延命
船屋神社(現、高部屋神社)	伊勢原市	1	家内安全
比々多神社	伊勢原市	1	疫神除け御祓札
江ノ島弁才天御師	藤沢市	5	祈禱札、御影
大雄山最乗寺	南足柄市	3	祈禱札、道了尊御影、御金印
平間寺	川崎市	3	厄除け祈禱札、海中出現内符
御嶽山御師	東京都青梅市	5	御祓札
富士東口御師 小松坊善大夫	静岡県駿東郡	4	御祈禱祓札
豊川稲荷	愛知県豊川市	2	豊川大明神守護札
津島神社五大夫	愛知県津島市	1	津島牛頭天王厄除け札
鹿島神宮	茨城県鹿嶋市	1	御守
金比羅宮	不明	1	御守
不明	不明	31	
	合計	106	

(※ 当館学芸員)

2. 山口家の御札資料

山口家は大磯町国府本郷地区の中丸とよばれる旧東海道沿いに位置している。この旧街道沿いの地区は、商家の名を屋号にもつ家が多く、商業地区であったと考えられている。山口家もその一つであり「コウジヤ」と呼ばれ、神奈川県内外とも交流があったと伝えられている。

御札資料は、関東地方と中部地方の寺社が発行した106点からなる。御札の発行寺社は、東は茨城県鹿嶋市鹿島神宮から西は愛知県津島市津島神宮(香川県金比羅宮の御守がみられるが、小祠など無数に存在するため発行地は不明とした)まで遠方の寺社がみられる(表.1)。山口家の檀那寺は同地区の宝前院、氏神は国府新宿地区にある六所神社であるが、この2つの寺社の御札や現在神棚に祀られている御札(氏神である六所神社、荒神さんの御札)は、残されていなかった。山口家資料の年代は、富士山東口御師や大山御師など御師の名が摺られているものがあることから、江戸期に発行されたと考えられる。御師とは、神社や寺に属し各地に檀家をもつ宗教者であった。檀那場(檀家がいる地域)を廻り祈祷や御札の配布をすることで初穂料を取っていた。檀家が参詣する際には、宿坊となり神楽の奏上や案内役ともなっていたのである。このため代参講とも積極的に関わっていた。しかし明治期になり、明治政府の神祇制度改革によって衰退し旅館に姿を変える御師も多く、また先導師と名乗って存続する場合もあった。

その他、江戸期の御札と考えられるものに白澤図がある。白澤図は中国起源の想像上の神獣である白澤を描いた紙札で、旅の道中安全を祈って懐に忍ばせていた。他にも、修験系の御札と考えられるものや紙の絵馬など現代ではあまりみられなくなったものが多く、当時の習俗を理解する貴重な資料である。

3. 山口家の御札資料からみる信仰範囲

①. 大磯町内の寺社

山口家が位置する大磯町国府本郷地区では真勝寺2点がある。真勝寺は相州新西国三十三観音霊場第十番札所である。御札2点の内1点は如意輪観世音菩薩像が摺られた御影(図.1)であり、1点は攘災致福の祈祷札である。

隣接地区では生沢地区の生沢稲荷1点、清生山観音寺7点がみられる。観音寺は、相州新西国三十三観音霊場第七番札所である。7点とも「仁王経御祈禱札」とあり、攘災や延命長寿などを願う仁王会・仁王講の痕跡と考えられる。生沢の稲荷は、生沢だけでなく小田原や平塚など遠方の人々から寄付を受けていた。栗野市養毛、湯山家の千枚札からもみつまっていることから神奈川西部の人々から信仰を受けていたことが分かる。この1点は、稲荷大明神と書かれた男神の御影(図.2)である。この御札には「為悦衆生故 現無量神力」と法華経の一節が記されている。「南無稲荷大明神」と書かれていることから、神仏混交の時代に作られたものであることがわかる。

②. 県内の寺社

県内では、平塚市の長泉寺1点、真田神社1点、二宮町の吾妻神社2点、伊勢原市の大山関係19点、一の沢浄苑願寺8点、大山御師神崎富大夫7点、比々多神社1点、粕屋神社1点、藤沢市の江ノ島弁財天御師が5点、南足柄市の最乗寺3点、川崎市の平間寺3点がみられる。

平塚市は、大磯町の北と東の境を接し、地域的結びつきが強くある。長泉寺の1点は星祭の護摩供札(図.3)である。星祭は、密教で、除災・求福のために当年星または本命星を祭ることである。同市の真田神社(真田宮、天王宮)の1点は、「奉轉讀大般若



図.1 真勝寺、観音御影



図.2 生沢稲荷大明神御影



図.3 長泉寺、
星祭護摩供札



図.4 吾妻大権現御影

経」とあり、大般若経転読会が行われたことを示している。真田神社は「真田の天王さん」と呼ばれており、御札にも「真田宮天王宮」とある。夏には農具市やホオズキ市が立ち、この日に参詣すれば、夏風邪をひかないと言われていた。周辺村落の人々が集まり賑わったようだ。

二宮町は大磯町の西に隣接し、平塚市同様地域的結びつきが強い地域である。二宮町梅沢の吾妻神社から2点受けてきている。1点は祈禱札であるが、内札に「吾妻大権現御祈禱守護」と摺られた御札が入っている。1点は吾妻大権現像が描かれた御影(図.4)である。吾妻神社の御札は平塚市や秦野市で見付かった千枚札にもみられ、女性の災厄除けの御札を発行している。

伊勢原市は大山を擁しており、神奈川県内には大山道が張り巡らされ往來の多い地域である。国府本郷地区からは20キロほど離れており、歩いたとしても1日で往復可能な距離である。大山は不動明王を本尊とする大山寺と奥宮である石尊権現、大天狗社など諸社寺からなる霊山である。明治期の神仏分離政策により石尊権現が阿夫利神社となった。御札は、牛王宝印9点(図.5)、尊勝陀羅尼の読誦札4点、三面大黒天御影2点、石尊大権現、不動明王の祈願札2点、大天狗宝印1点(図.6)、祈禱札1点、である。牛王宝印とは、烏や蛇を用いた独特の字体で「~寺牛王宝印」や「~社宝印」と書かれた御札で、火除けや病氣平癒などさまざまな効能がある御札である。尊勝陀羅尼の読誦札は、仏頂尊勝の功徳を説く陀羅尼で、靈験があるとされ密教や禪宗で読誦される。この御札には、「奉誦尊勝陀羅尼千遍」とあり、読誦を1000回した靈験ある御札として配られたものである。大山御師の名が摺られた御札が7点ある。明治期に著された『大山開導記』によれば国府本郷村を檀那場としている大山御師は、逸見民衛、佐藤

衛三郎、沼野一路の3名が記録されている。しかし山口家の御札資料には「神崎富大夫」とある。『大山開導記』に「神崎富大夫」の名もみられ、時代が異なっているのか記入漏れか不明である。『大磯町民俗調査報告書3 国府の民俗』には大山講がかつて存在していたことがうかがえ、山口家が講に参加し御師と関係していた可能性があるだろう。淨発願寺は三千禮御札である。これは、三千の仏の名を唱え罪障を懺悔し消滅を祈る仏名会の際に配られた御札であろう。比々多神社は相模国三宮である。御札には「御裁」と摺られており、疫神除けの御札であると考えられる。比々多神社では、現在でも疫神除けの御札を頒布している。粕屋神社は、高部屋神社のことだろうか。上粕屋に五霊神社は2つあり発行寺社は不明である。この1点は家内安全の祈禱札である。

藤沢市の江ノ島弁財天は、江戸期に江戸の庶民から信仰され、芸能上達、福徳円満、海上安全の神とされていた。御札は、江ノ島御師「片野左内」と書かれている祈禱札1点、その他は御師「片野左内」の名が摺られている御影(図.7)が4点ある。江ノ島御師は、江ノ島弁財天の本宮、上ノ宮、下ノ宮それぞれを司る岩本院、上ノ坊、下ノ坊の3宿坊である。後に岩本院が他の宿坊を吸収していることから、岩本院から配られた御札であろうか。

南足柄市の最乗寺は、大雄山の山号でも知られ開山は了庵慧明である。創建に協力した道了という僧が、寺の完成と同時に天狗になり山中に身を隠したと伝えられることから「道了尊」とも呼ばれる。御札は祈禱札が1点、天狗姿の道了尊御影が1点(図.8)、御金印と摺られた御札1点である。

川崎市金剛山平間寺は、通称「川崎大師」として知られ、海中から引き上げられた弘法大師像を祀ったことを起原として伝えられている。明末、厄除信仰



図.5 大山牛王宝印



図.6 大山大天狗宝印



図.7 江之嶋弁財天御影



図.8 道了尊御影

の霊場として信仰を集めている。3点の御札も厄除けの新祈札である。内2点は「海中出現」と置られ、祈札の中に入れられる内符のみである。

③. 隣県（東京都、静岡県）

隣県では、東京都御嶽山御師5点、静岡県富士山東口御師4点が挙げられる。

武州御嶽神社は、東京都青梅市にある御岳山に鎮座している。農業の守護として関東一円で信仰され、明治末期から大正期には神奈川県内のほぼ全ての市町村に武州御嶽講が存在していた。現在でも「大口真神」が描かれた御札を家の玄関や蔵に貼っている家がある。『大磯町民俗調査報告書3 国府の民俗』は、かつて国府本郷地区に御嶽講が組織されていたことを記録している。同地区では廃れてしまったが、西小磯地区や虫窪地区では現在でも御札を貼っている家がみられる。山口家の御札には、5点の御札の内3点「片柳内匠」、2点「片柳能登守」と2名(2代か)から受けていたことが分かる。国府本郷地区の人々が御嶽講を作り御嶽師と檀家関係にあり、山口家も参加していたと考えられる。

富士山東口御師は、富士山登山道須走口を通る信者、特に江戸期に流行した代参講の人々を受け入れていた。明治期には富士山信仰のひとつである丸山教が広がっており、国府本郷地区にも丸山教に参加していた人々がいたようだ。旧吉田茂邸横には「丸山講中碑」があり、この地区に富士山信仰が存在していた痕跡である。丸山教は明治期の信仰であり、富士講をまとめあげる扶桑教から独立した団体である。山口家が富士講に参加していたとしても不思議はない。山口家資料には御師小松坊善大夫の発行した4点が残されている。4点とも「御祈禱」の御札である。

④. その他の地方

その他の地方では、愛知県豊川稲荷2点、愛知県津島神社御師1点、茨城県鹿島神宮1点がみられる。

豊川稲荷は正確には豊川開妙殿寺と呼ばれる寺院で、豊川陀尼天を鎮守としている。秋葉街道沿いの寺社のひとつとしても知られる。御札は2点とも「奉祈念正一位豊川大明神守護(所)」と置られた御札である。

津島神社は建速須佐之男命を祀るが、天王信仰の普及によって津島牛頭天王社と呼ばれるようになる。疾病除け、厄難除けの神徳があるとされる。御札には「津島牛頭天王互大夫」と置られ、御師により頒布された津島牛頭天王の厄除け札(図.9)である。

鹿島神宮は武甕槌大神を主祭神とし、軍神であり航海神として信仰されていた。毎年下級神人による事触が正月年頭から諸国を触れ回っており、神奈川

県では相模湾一帯に事触の際の踊りから派生した鹿兎島踊りが伝えられている。山口家の御札が1点あるのみである。

行政単位で分類すると以上

の上になる。しかし、信仰範囲は、現在の行政単位と合致するものではない。よって寺社の密度と御札の発行数から再分類する必要がある。

まず、大磯町(真勝寺、観音寺、生沢稲荷)とその隣接市町村である二宮町(吾妻神社)、平塚市(真田神社、長泉寺)を含む範囲が最も密度の高い地域である。これらの寺社は国府本郷地区と近隣の市町村から信仰を集めている寺社である。この範囲は、国府本郷地区から約10キロ圏内である。しかし、伊勢原市域の寺社(大山寺、粕屋神社、浄発願寺、比々多神社)も同様に密度が高い。これらの寺社は、約20キロ離れた大山寺までの途上や大山周辺寺社である。大山信仰の強さによるところであろう。伊勢原市域が突出する形になるが、大山周辺や大山までの道のりの寺社と二宮町、平塚市の寺社を国府本郷地区周辺を「高密度圏」と考えることができる(地図参照)。

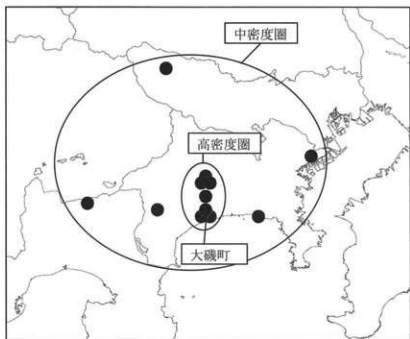
次に神奈川県内(江ノ島弁財天御師、最乗寺、平間寺)と隣県(御嶽神社、富士山東口御師)の寺社は、関東地域や全国から参拝者が訪れる寺社である。国府本郷地区から約20キロ以上距離があり、10キロ圏内の寺社とは明らかに信仰されている範囲、寺社の規模が異なる。さらに、この範囲の御札は20枚の内14枚が御師から受けた御札である。この範囲は、御師の活動圏、御師の宿坊に泊まらなければならず、代参講などにより詣でる寺社、つまり参拝頻度が減る距離にあると考えられるだろう。これを仮に「中密度圏」と言い表すことにする(同地図参照)。

最後に、その他の地域である。豊川稲荷、津島神社御師、鹿島神宮の3寺社は点数が少なく、聞き取りの際も名前が挙がらなかった。仮に「低密度圏」とする。豊川稲荷、津島神社は伊勢参りや秋葉参りの際に立ち寄る寺社であるが、山口家の御札資料の中には伊勢神宮や秋葉神社の御札はない。しかし伊勢参りや秋葉参りは、『大磯町史』にも表れているため、伊勢神宮や秋葉神社参拝の際に豊川稲荷、津島神社に参拝していた可能性はあるだろう。

以上の3つの「密度圏」に分類することができた。この範囲が普遍的なものかを探るには、他家の千枚



図.9 津島牛頭天王厄除札



地図 神奈川県周辺の社寺密度(テクノコ白地図イラスト: <http://technocco.jp/>)

札も分類し比較する必要があるだろう。

発行神社別の点数を見てみると、最も多く御札がみられるのは、大山寺で19点、大山御師も合わせると26点になる。最も厚く信仰していた寺社の1つと言えるだろう。次に伊勢原市一の沢淨願寺が8点、大磯町生沢観音寺7点、と「高密度圏」と一致する。

「中密度圏」は、江ノ島弁財天5点、東京都御嶽山御師5点、静岡県富士山東口御師4点である。「低密度圏」は、愛知県豊川稲荷2点、愛知県津島神社1点、茨城県鹿島神宮1点と遠方ほど減っていく傾向がある。密度と数量はある程度連動していることがわかる。

御師の名が書かれている御札からは、御師の活動を窺い知ることが出来る。大山御師、江ノ島弁才天御師、御嶽御師、富士山東口御師、津島神社御師が山口家と関係していたことがわかる。先に述べたように御師は、檀那場廻りや代参などの参詣の際に御札を配布していた。当地における御師の活動と講の活動を探るには、民俗誌や古文書を参照する必要がある。『大磯町民俗調査報告書3 国府の民俗』には「大山講、御嶽講、秋葉講」が存在していたとされている。秋葉講に関する御札は山口家資料にはみられないが、大山講と御嶽講は御師の名が書かれた御札がある。山口家が講中に参加していた、もしくは御師の檀家であったと考えられる。

4. まとめ

千枚札の分類により、信仰範囲や御師の活動を見ることができる。しかし伊勢神宮や地域の寺社が少ないもしくは残されていないことを注意しなければ

ならない。また、千枚札自体については、分からないことがまだ多い。特に残す御札は家によって異なり、神棚に祀る御札において顕著に現れているようだ。

山口家の御札資料では、現在神棚に祀っている六所神社の御札がみられないが、大磯地区真壁家の御札資料には神棚に祀る高来神社の御札が27点ある。家によって残す御札の選択基準が異なることが分かる。

この問題は、御札を残した人々のもつ御札や神棚、神などの観念を考慮の上でひとつの資料となる。資料整理の方法もまだ未確定であり、資料同士が貼り付いている場合などを1点としかどうかなどで資料点数が変わってくる。今後の課題としたい。

最後にお忙しい中貴重なお話を聞かせていただいた浦田家、山口家の方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

参考文献

- ・大磯町 『大磯町史8 別編 民俗』 2003年。
- ・大磯町 『大磯町民俗調査報告書3 国府の民俗』 1993年。
- ・大磯町教育委員会 『大磯町文化財調査報告書36 集 石造物調査報告書(5)』 1992年。
- ・喜代古栄徳 『徳島県・安丸家の儀』 『四国辺路研究』、第14号 1998年。
- ・小松淳子 「家に残された守札—小山市大川島 青木家文書から—」 『小山市立博物館紀要』 第4号 p.39-p.54 1994年。
- ・菅野幸裕 「守札の分析による村落の信仰—兵庫県福崎町の事例を中心に—」 『民具マンスリー』 第24巻5号 p.5-p.14 1991年。
- ・世田谷区立郷土資料館 『特別展 社寺参詣と代参講』 1992年。
- ・室室文雄、平野栄次ほか編 『民間信仰調査整理ハンドブック(下・実態編)』、雄山閣 1987年。
- ・時枝務 「守札と信仰—農家における守札の存在形態—」 『民具マンスリー』 第20巻12号 p.9-p.16 1988年。
- ・秦野市 『秦野市史民俗調査報告書3 漂白と定住・御師の村』 1984年。
- ・八王子市郷土資料館 『家内安全・無病息災—庶民の願い—』 2011年。
- ・平塚市 『平塚市史12 別編 民俗』 1993年。
- ・宮代町教育委員会 『宮代町史資料 第九集 祈りの札』 1995年。

年 報

平成 24 年度

◇ 平成 26 年 3 月 20 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660